



*Neuroinformatics Base Platform System*

*XooNIps*

---

**XooNIps Version3.30**

**Neuroinformatics Base Platform System**

**平成 19 年 7 月 2 日**

# **XooNIps Version3.30: Neuroinformatics Base Platform System**

平成 19 年 7 月 2 日

Copyright © 2007 Neuroinformatics Japn Center, RIKEN BSI.

# 目次

1. はじめに .....	1
1.1. 挨拶 .....	1
1.2. 対応バージョン .....	1
1.3. 本マニュアルの構成 .....	1
2. XooNips 紹介編 .....	2
2.1. XooNips の基本画面 .....	2
2.2. 用語解説 .....	2
2.3. システム概要 .....	3
3. 基盤システムの構築と設定編 .....	7
3.1. Version3.30 におけるシステム要件 .....	7
3.2. 本マニュアル執筆時の環境 .....	7
3.3. XooNips 運用前のシステム設定 .....	8
3.4. XooNips 運用前のサイトポリシー設定 .....	17
3.5. 日常メンテナンス .....	24
4. システム操作編 .....	35
4.1. ゲスト .....	35
4.2. 登録ユーザー時の操作 .....	40
4.3. グループ管理者 .....	59
4.4. モデレーター(moderator) .....	63
4.5. システム管理者(Webmasters) .....	70
5. 謝辞 .....	77
6. 著作権表示 .....	78

# 第1章 はじめに

## 1.1. 挨拶

ニューロインフォマティクス (NI) は、脳神経科学と情報科学・技術を融合することで、脳の構造と機能の解明に挑戦する新しい研究分野です。2005年11月に国際機構:INCF (International Neuroinformatics Coordinating Facility) が発足し、世界的規模で活発な研究協力が始まっています。理化学研究所脳科学総合研究センターニューロインフォマティクス技術開発チームでは、NIに関わる様々な先端技術開発に取り組んでおり、XooNIpsはその成果の一つです。

XooNIps は、NRV (Neuroinformatics Research in Vision) プロジェクトで構築した視覚系 NI プラットフォーム Visiome のコンセプトとその基本的な仕様を踏襲し、コンテンツマネージメントシステム (CMS) の一つである XOOPS をベースとして開発されたもので、インターネット上で多様なデータの共有を図る NI のためのデータベース基盤システムです。

XooNIps には三つの特徴があります。

その一つはデータベース構築の柔軟さです。XooNIps は CMS をベースに開発されているために、データベースのデザインを変更したり、XOOPS 上で利用可能な様々なモジュールと組み合わせて、データベースとしての機能の拡張が容易に行えます。すなわち、システムに詳しくない方々でも情報を共有するデータベースを立ち上げる事が可能です。

二つめは、XooNIps が扱うデータの多様性、拡張性です。実際に必要とされる様々なデータを扱える様に、多様なデータ形式を標準に備えられている上に更に、新しいデータ形式も扱えるような拡張方法も準備されているので、標準で無い形式のデータであっても容易に取り扱えるように拡張することが出来ます。

三つめは、メタデータの流通機能です。XooNIps はメタデータ流通の標準プロトコルの一つである OAI-PMH (Open Archive Initiative-Protocol for Metadata Harvesting) を実装しています。これにより、XooNIps で構築された他のデータベースの情報を収集したり、XooNIps 以外の OAI-PMH を備えた他のデータベースとメタデータを介して、協調させる事が可能です。

2007年4月より XooNIps の機能拡張等の保守・運用サポートを理化学研究所脳科学総合研究センター神経情報基盤センター (Neuroinformatics Japan Center : NIJC) で担当する事になりました。これを機会にマニュアル類の整備等を進めて行きます。NIJC は INCF 日本ノードとして我が国の NI 研究を確立・展開すべく XooNIps を利用した様々な脳神経科学分野の NI データベースを立ち上げ、運用しております。また、XooNIps は NI 以外にも、研究機関や大学でのデータベースや機関リポジトリ、ラボ内のグループウェアなど、多様な応用が進められております。今後さらに XooNIps が国内外において広く利用されていくことを期待しています。

理化学研究所 脳科学総合研究センター

神経情報基盤センター センター長 臼井支朗

## 1.2. 対応バージョン

本マニュアルは XooNIps Version3.30 に対応しています。

## 1.3. 本マニュアルの構成

### 1. XooNIps 紹介編

XooNIps の概要を説明しています。

### 2. 基盤システムの構築と設定編

サーバー管理者向けに XooNIps のインストールと初期設定について説明しています。

### 3. システム操作編

実際に XooNIps を使う際の作業を説明しています。

# 第2章 XooNips 紹介編

脳・神経系に関する研究の成果には、論文のみならず実験データ、数理モデル、シミュレーションプログラム、シミュレーション結果、計測データ、URL などの電子情報を含む多様な研究資源が存在します。脳機能の理解・解明を今後より一層進めるためには、これらの研究資源を蓄積・整理し、相互に共有し、広く公開することが重要となります。

XooNips (ズーニプス)では、これらの研究資源の蓄積から共有・公開までの一連の枠組みを提供しており、従来は共有・公開の難しかったさまざまな形態の研究資源もその形態にとらわれることなく自由に共有・公開することが可能となります。

本システムは、コンテンツマネジメントシステム XOOPS Cube をベースとしており、プラグイン形式による様々な機能の追加やデザインの変更などカスタマイズ性を考慮した設計となっており、目的に合ったサイトポリシーでデータベースの構築・運用が可能です。

## 2.1. XooNips の基本画面

デザインはサイトによって異なる場合があります。

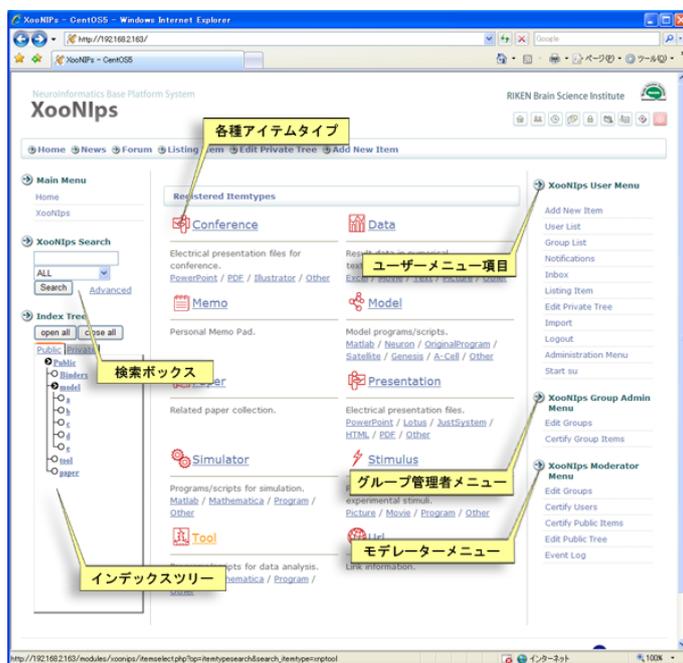


図 2.1. XooNips の基本画面

## 2.2. 用語解説

- システム管理者(Webmasters)  
XOOPS Cube 全体の管理権限を持つユーザーです。サイトポリシーを決定して設定をします。XooNips では Webmasters グループに所属します。
- モデレーター(moderator)  
XooNips の設定などを行う管理者です。ユーザーの登録等の管理と、登録データの公開申請に対して査読を行うことができます。XooNips では moderator グループに所属します。
- 登録ユーザー(Registered Users)  
モデレーターに承認されて XooNips を利用出来る人です。XooNips では Registered Users グループに所属します。  
XooNips はユーザー登録後、モデレーターの承認作業を経て機能を利用できる状態になります。

- ゲスト(guest/Anonymous Users)  
XooNIps にログインしていない状態のユーザーです。XooNIps では Anonymous Users グループに所属します。
- グループ  
登録ユーザーの集まりです。
- グループ管理者  
グループを管理する権限を持つユーザーです。グループの共有領域にデータを登録する際に査読を行うことができます。
- アイテム  
登録されるデータの事です。
- アイテムタイプ  
登録されるデータの種類の事です。Data,Model,Tool 等データの種類の種類に合わせて複数の種類があります。
- インデックスツリー  
登録データを管理分類するために用意されている表示方法です。
- インポート  
公開されている XooNIps から、新しい XooNIps へ移行する際のデータ移動手段です。
- エクスポート  
XooNIps の公開されているデータを、新しい XooNIps へ移行させる為にデータを変換する機能です。
- ランキング  
各データのダウンロード数によるランキング表示です。
- 職名  
登録ユーザーの情報として登録される役職名です。
- メタデータ  
検索システムの対象となるデータを要約したデータの事です。XooNIps ではメタデータを簡単に作成し、データ登録の際に利用することができます。
- OAI-PMH  
メタデータを機械的に収集するプロトコルです。OAI-PMH ではデータを一括して取得することを、農作物の収穫になぞらえ、「刈り取る」(ハーベスティング)と表現します。  
OAI-PMH は、OAI-PMH によるデータ提供をサポートするサーバーから一括してメタデータを刈り取るために用いられます。刈り取る側のクライアントソフトウェアをハーベスタ、刈り取られる側のサーバーをリポジトリと呼びます。  
XooNIps は両方の機能を備えています。

## 2.3. システム概要

データベースを円滑に運用するため、利用できる機能をユーザー権限によって分けられており、使い分けることによって『アイテムの公開』や『グループ内におけるアイテム共有』などの一連のワークフローを実現しています。

- ゲスト(Anonymous Users)  
公開されているアイテムの検索・閲覧が出来ます。  
サイトにアカウント登録を行うことが出来ます。
- 登録ユーザー(Registered Users)  
登録ユーザー専用の個人領域にアイテムを登録することが出来ます。

グループに所属してグループ専用領域にアイテムを登録することが出来ます。

公開状態、個人領域、グループ共有領域に登録されているアイテムの検索・閲覧が出来ます。

個人領域のインデックスツリーの編集が出来ます。

- グループ管理者(Group Administrator)

研究者グループのメンバー管理(登録・削除)が出来ます。

グループ共有領域のインデックスの編集が出来ます。

グループ領域に登録するアイテムの承認作業が出来ます。

- モデレーター(Moderator)

XooNips システムの設定を行えます。

ユーザーのアカウント承認作業が出来ます。

公開領域のインデックスツリーの編集が出来ます。

新たに研究者のグループを作成することが出来ます。

サイトのアクセスログを見る事が出来ます。

公開領域に登録するアイテムの承認作業が出来ます。

- システム管理者(Webmasters)

XooNips サイトのポリシーを決定し設定を行います。

OAI-PMH で記述された外部 DB を選んでメタデータを取得する設定を行えます。

DB のインポート・エクスポート機能を使って DB の移行が出来ます。

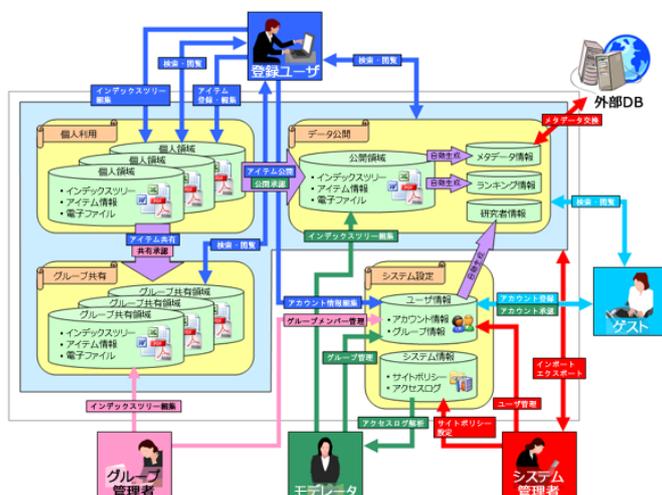


図 2.2. システム概要図

## 2.3.1. 主な特徴

### 2.3.1.1. アイテムタイプによる電子情報の分類

XooNips では、登録データを『アイテムタイプ』に分類して保存します。

### 2.3.1.2. インデックスツリーによるアイテム管理

XooNips では、登録データを『アイテムタイプ』毎に分類して、『インデックスツリー』に関連付けて保存することでユーザにわかりやすい形でインターネット上で研究資源を公開・共有できます。

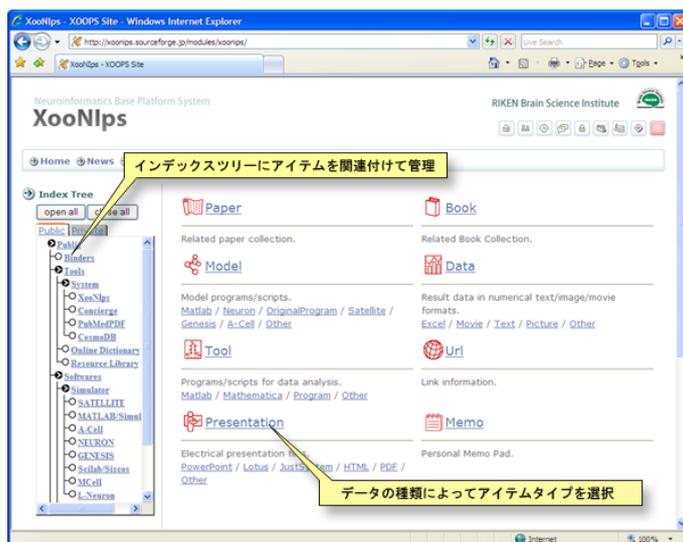


図 2.3. XooNips の概観

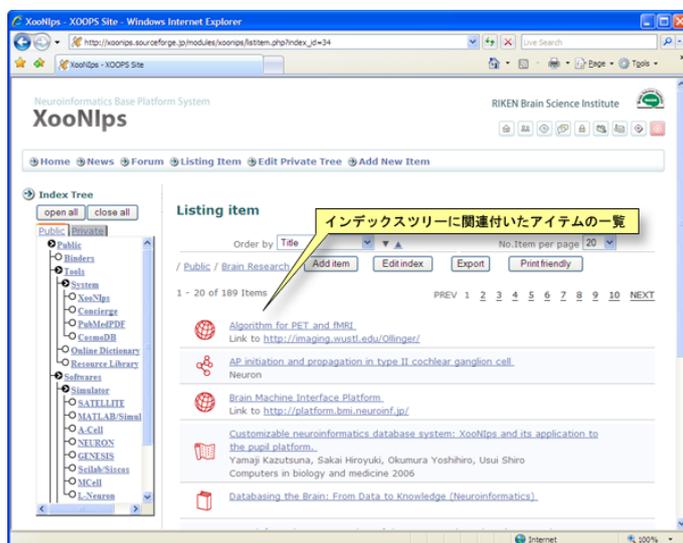


図 2.4. アイテムの一覧表示

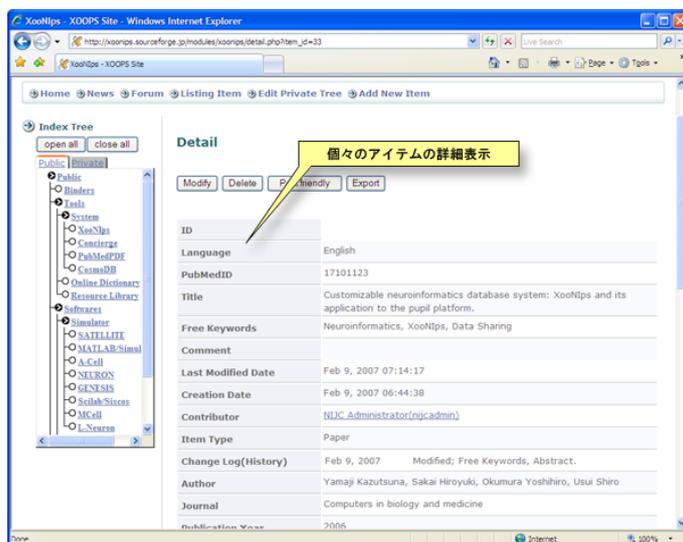


図 2.5. アイテムの詳細表示

### 2.3.1.3. アイテムの公開レベル

- Public、Group、Private のアイテム公開レベルがあります。
  - Public  
サイトにアクセスした誰もが見ることが出来る公開レベルです。Public レベルにアイテムを登録するためにはモデレーターの査読が必要になります。
  - Group  
グループ公開レベルです。グループに登録されたグループメンバー内のみが検索・閲覧ができます。Group レベルにアイテムを登録するためにはグループ管理者の査読が必要になります。
  - Private  
個人公開レベルです。登録ユーザー個人が利用できるプライベートスペースになります。

### 2.3.1.4. 査読システム

- Public / Group レベルにアイテムを登録する際にモデレーターやグループ管理者の査読が必要なシステムなっています。これにより XooNIps では各アイテムの品質管理が行えるようになっています。

### 2.3.1.5. 外部データベースサイトの串刺し検索

- OAI-PMH に準拠したメタデータ取得が可能です。

### 2.3.1.6. XOOPS Cube の既存モジュールと組み合わせ可能

- XOOPS Cube の既存モジュールと組み合わせて多種多様なサイトを構築可能

### 2.3.1.7. テーマの変更

- XOOPS Cube のテーマを変更することでレイアウトなどの概観を自由に変更可能

# 第 3 章 基盤システムの構築と設定編

ここでは XooNIps のインストールや運用する前に必要な設定について説明します。

## 3.1. Version3.30 におけるシステム要件

XOOPS Cube (XOOPS2.0.16a JP)が動くシステム

MySQL および PHP がインストールされたサーバー

## 3.2. 本マニュアル執筆時の環境

- OS  
CentOS 5 Final
- Apache2  
Version 2.2.3
- MySQL  
Version 5.0.22-2.1
- PHP  
Version 5.1.6

### 3.2.1. XOOPS Cube のセットアップ

XOOPS Cube のセットアップについては本家サイトを参照してください。

### 3.2.2. PHP 拡張モジュール・外部コマンドのインストール

以下のパッケージを別途インストールする必要があります(CentOS 5 の場合)。

- php-mbstring
- php-gd
- php-xml
- php-pear
- php-mysql

以下の PHP 拡張モジュールを別途インストールする必要があります。

- fileinfo

以下の外部コマンドを別途インストールする必要があります。インストール方法は Web 等を参照してください。

- xhtml
- ppthtml
- pdftotext
- wvText

### 3.2.3. XooNIps の入手

<http://xoonips.sourceforge.jp/>から XooNIps module Version3.30[tar.gz]を入手してください

### 3.2.4. XooNIps モジュールのインストール

XOOPS Cube の管理画面より XOOPS のモジュールとしてインストールしてください。

XooNIps モジュールインストール後に必要なアイテムタイプモジュールをインストールしてください。

### 3.2.5. モジュールのアップデート方法

XooNIps のモジュールがバージョンアップした際にはディレクトリを上書き後、管理画面からアップデート作業を行ってください。

XooNIps のアップデートがあった際には、アイテムタイプも同様にアップデートを行ってください。

#### 注意

XooNIps3.30 へのアップデートは XooNIps3.24 からのみをサポートしています。

## 3.3. XooNIps 運用前のシステム設定

XooNIps 運用前に設定する項目を説明します。

XOOPS の Control Panel での操作になりますので、Webmaster 権限を持ったユーザーが設定をします。

Control Panel にはモデレーターが行う日常メンテナンスの項目も含まれますので、システム管理者(Webmasters)とモデレーターを兼任する運用方法をお勧めします。

#### 注意

それぞれの項目は入力・選択した後、submit/Update/Go 等のボタンを押すことでシステムに反映されません。

### 3.3.1. システム全般設定[System Configuration]

XooNIps の機能全般にわたる設定です

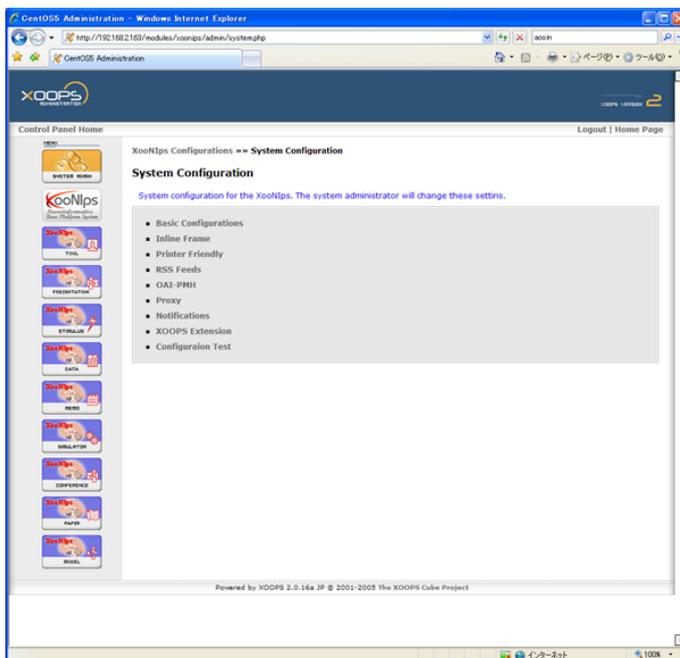


図 3.1. システム設定画面

### 3.3.2. 基本設定[Basic Configurations]

- Moderator Group  
XOOPS のユーザーグループでどのグループをモデレーターにするかを選びます。
  - moderator  
XOOPS の moderator グループが XooNIps のモデレーターとなります。通常はこれを選択してください。
  - Webmasters  
XOOPS の Webmasters グループが XooNIps のモデレーターとなります。
  - Registered Users  
XOOPS の Registered Users グループが XooNIps のモデレーターとなります。
  - Anonymous Users  
XOOPS の Anonymous Users グループが XooNIps のモデレーターとなります。
- File Upload Directory  
アイテムの添付ファイルがアップロードされるディレクトリを指定します。Web サーバーがアクセス権限のあるディレクトリを指定します
- Magic File Path  
MIME Type を判断する Magic ファイルの場所を指定します。通常はデフォルトの位置が入力されます

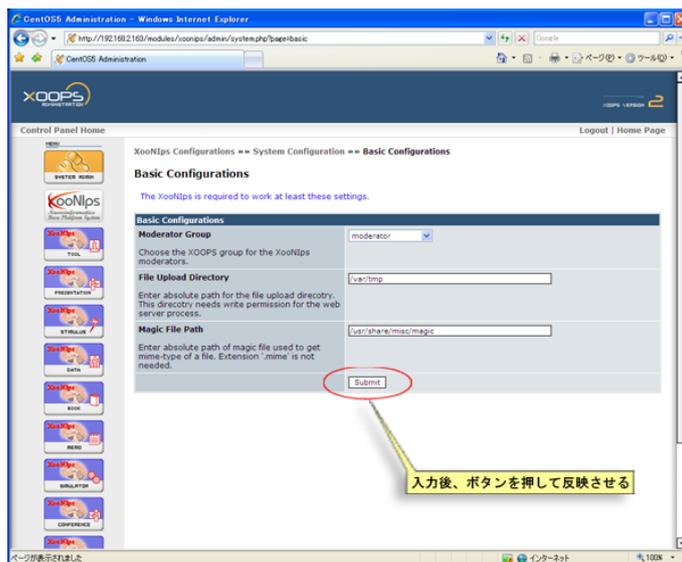


図 3.2. 基本設定

### 3.3.3. インラインフレーム[Inline Frame]

ブロック内でのインデックスツリーの幅と高さを指定できます。

あくまでブロック内での指定なので、幅を 100%より大きく指定した場合でも左ブロックの表示領域を超えて表示されることはありません。

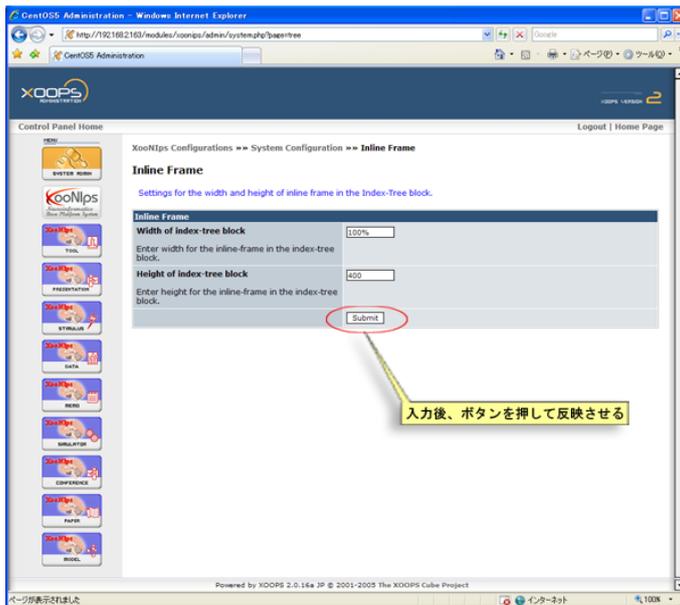


図 3.3. インラインフレーム設定

### 3.3.4. 印刷設定[Printer Friendly]

印刷の際のヘッダを HTML タグを用いて編集することができます。

検索結果などを印刷する際に登録した情報がヘッダとして表示されます。

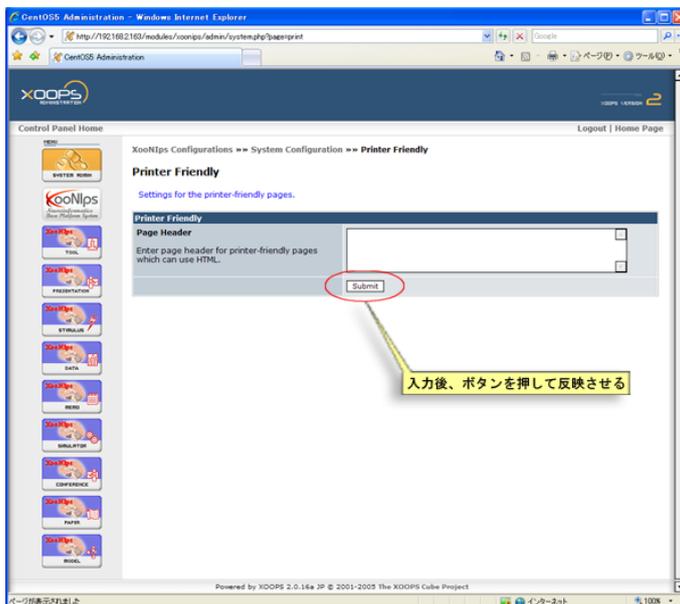


図 3.4. 印刷ヘッダ指定

### 3.3.5. RSS 配信設定[RSS Feeds]

RSS 配信ファイルを作成するかと、何件のデータを配信するかを決定します。

あらかじめ Web サーバーが書き込めるディレクトリにファイル名 index.xml の空ファイルを作成しておく必要があります。

何も入力しない場合は作成しません。

例：modules/xoonips/rss 等

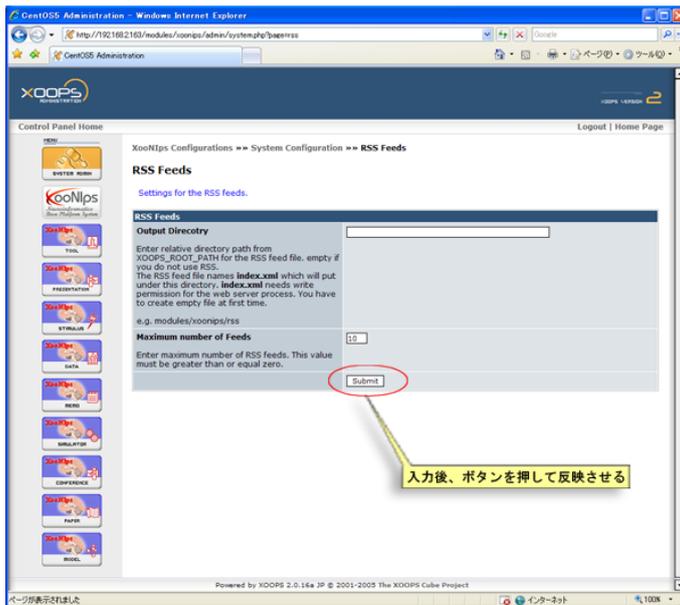


図 3.5. RSS 配信設定

### 3.3.6. OAI-PMH 設定[OAI-PMH]

XooNIPS のリポジトリ設定とハーベスタ設定が出来ます。

- Repository Configurations

XooNIPS のリポジトリとしての設定です。

- Repository Name

リポジトリとしての名前を登録します。

- Database ID

任意の ID 番号を付けられます。

- Number of days tracking item deletion

アイテムが削除されたという情報の保持日数を入力します。

- <institution> variable

OAI-PMH 要求に回答する際の<institution>に使用する値を指定します。

- <publisher> variable

OAI-PMH 要求に回答する際の<publisher>に使用する値を指定します。

- Harvester Configurations

ハーベストするサーバーの登録をします。

1行1レコードで入力します。セミコロン『;』を先頭に書いた場合は改行までコメント扱いになります。

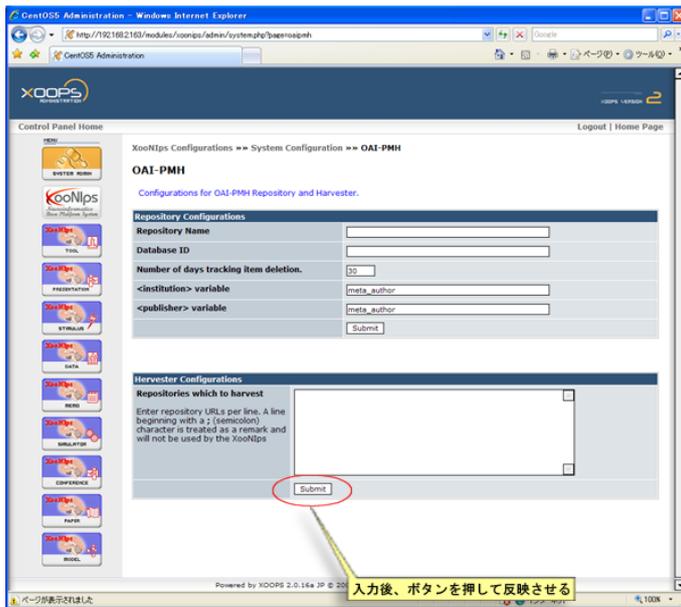


図 3.6. OAI-PMH 設定

### 3.3.7. プロキシ設定[Proxy]

プロキシサーバーの設定をします。

- Host  
プロキシサーバーのアドレスを入力します。
- Port  
プロキシサーバーのポート番号を入力します。
- User Name  
ユーザー名を入力します。
- Password  
パスワードを入力します。

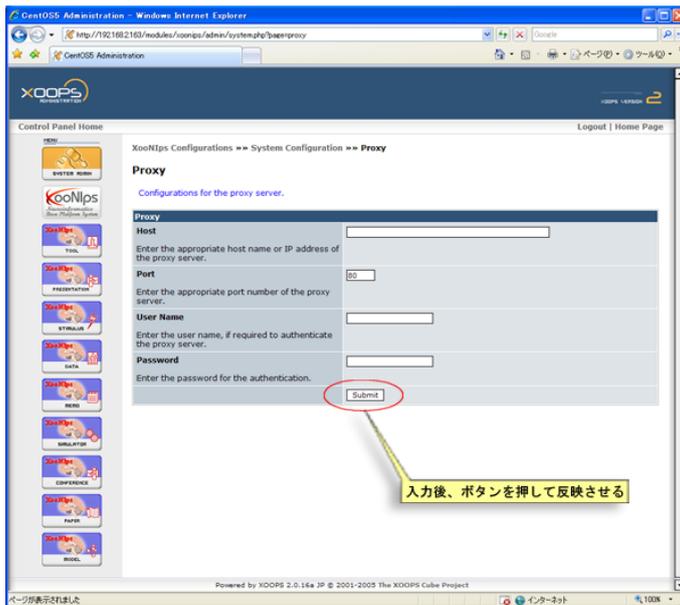


図 3.7. プロキシ設定

### 3.3.8. イベント通知設定[Notifications]

XOOPS のイベント通知機能を利用して、アイテムの登録や査読の結果などのイベントの通知設定をします。  
通知は XOOPS の PM(プライベートメッセージ)がメールで通知されます。

#### 注意

XooNips アイコンにマウスを合わせた時に表示されるポップアップメニューの Preferences の項目と設定内容・機能は同じです。

- Enable Notification  
イベントの通知方法を決定します。
  - Enable Notification(both style)  
表示を許可したイベントを登録するフォームがメインコンテンツ下部とイベント通知ブロック内に表示されます。
  - Enable only Inline-style  
表示を許可したイベントを登録するフォームがメインコンテンツ下部にだけ表示されます。
  - Enable only Block-style  
イベント通知を行うブロックを表示する設定になっている場合、ブロック内にだけ表示されます。
  - Disable Notification  
通知イベントを登録するフォームは表示されません。
- Enable Specific Events  
イベント通知を利用するイベントを選択します。イベントは PM(プライベートメッセージ)がメールで通知されます。
  - Administrator: Item registered into index  
インデックスにアイテムが登録されたイベント
  - Administrator: Binder content empty

バインダーのアイテムが0になったときのイベント

- XooNips User: Item certified  
アイテムが承認されたイベント
- XooNips User: Item rejected  
アイテムが承認されず差し戻されたイベント
- XooNips User: Index renamed  
インデックスの名前が変更されたイベント
- XooNips User: Index moved  
インデックスの移動がされたイベント
- XooNips User: Index deleted  
インデックスが削除されたイベント
- XooNips User: File downloaded  
アイテムがダウンロードされたイベント

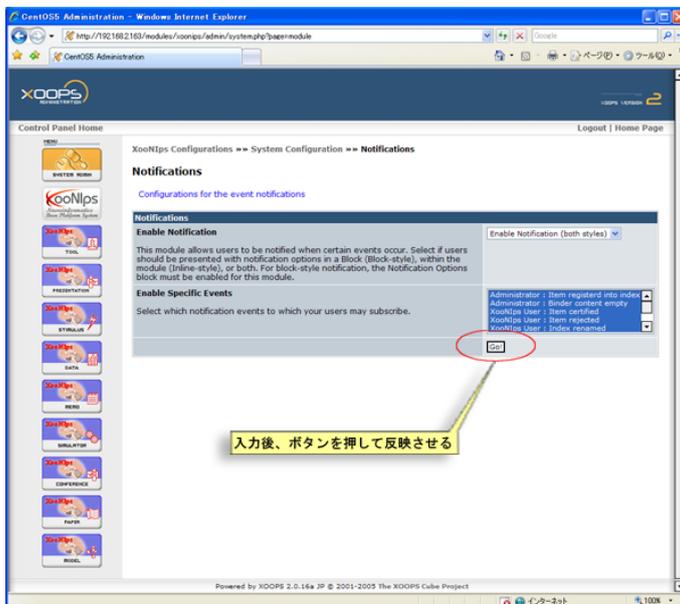


図 3.8. イベント通知設定

通知するイベントのチェックボックスをチェックして UpdateNow ボタンで更新すると、イベント発生時にあらかじめ決めた方法(PM かメール)で通知されます。

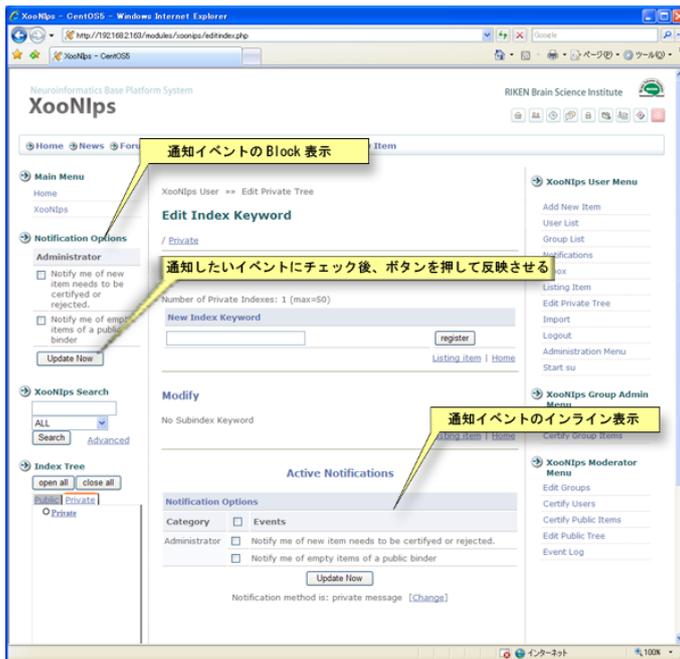


図 3.9. イベント通知機能設定表示位置

### 3.3.9. XOOPS ユーザー拡張[XOOPS Extention]

XooNips では XOOPS 本体のユーザー情報を拡張して利用します。この項目で XOOPS の情報を XooNips 用に拡張します。

XooNips 用に情報を拡張したいユーザーの Action の項目にあるアイコンをクリックすると XooNips 用に情報を拡張します。

#### 注意

実際に利用するにはサイト上でモデレーターのユーザー承認作業が必要です。

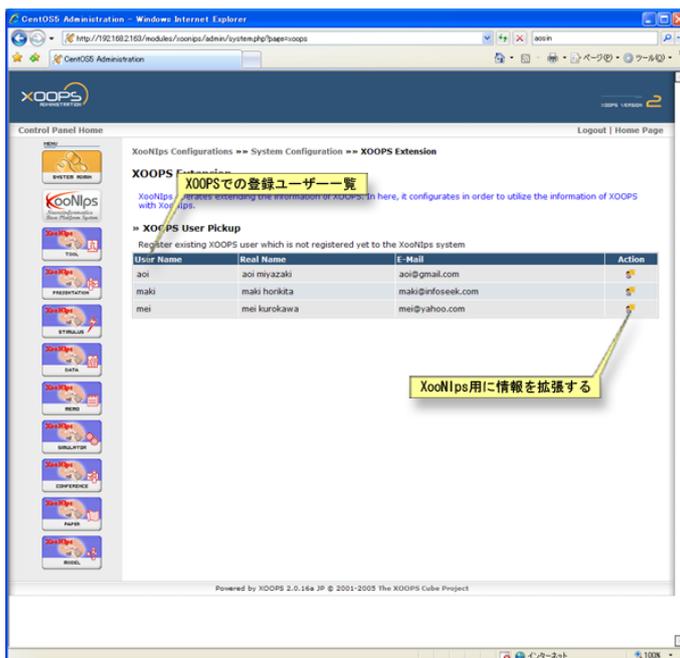


図 3.10. XOOPS ユーザー拡張

### 3.3.10. 動作確認[Configuration Test]

この項目で XooNIps と関連ミドルウェアなどの設定が正しくなされているか確認が出来ます。

TEST ボタンを押すことで php.ini 等の設定情報を確認出来ます。

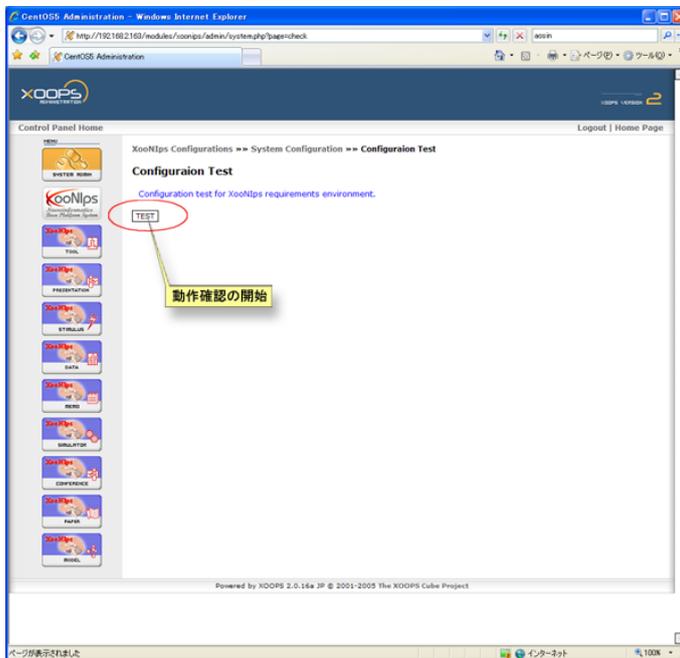


図 3.11. 動作確認

設定不備の項目は赤で Fail/Notice 表示になりますので、設定を確認してください。

External programs の項目は/usr/bin/以下を検索していますので、シンボリックリンクを張るなど対応してください。

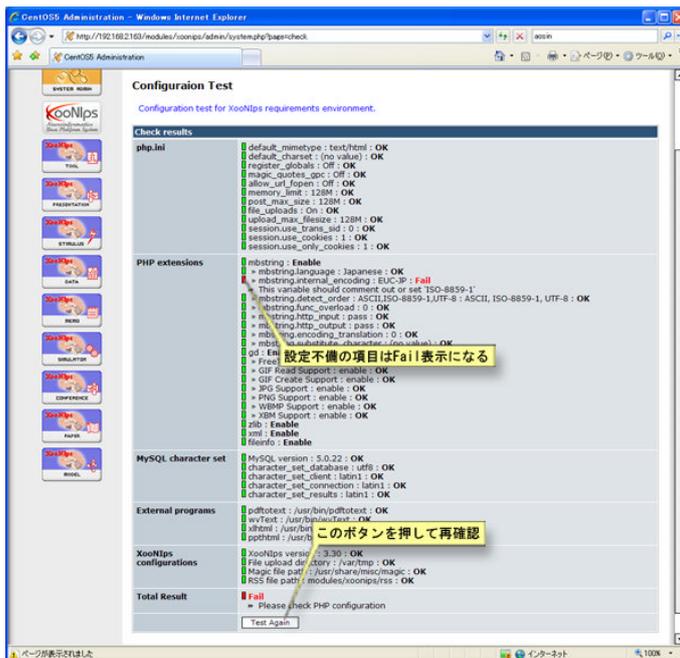


図 3.12. 動作確認の画面

## 3.4. XooNips 運用前のサイトポリシー設定

XooNips 運用前に設定しておくべきサイトポリシー項目です。

### 3.4.1. サイトポリシー設定[Site Policies]

ユーザー登録の際に入力させる項目等、XooNips 運用前に設定しておくべき項目です。

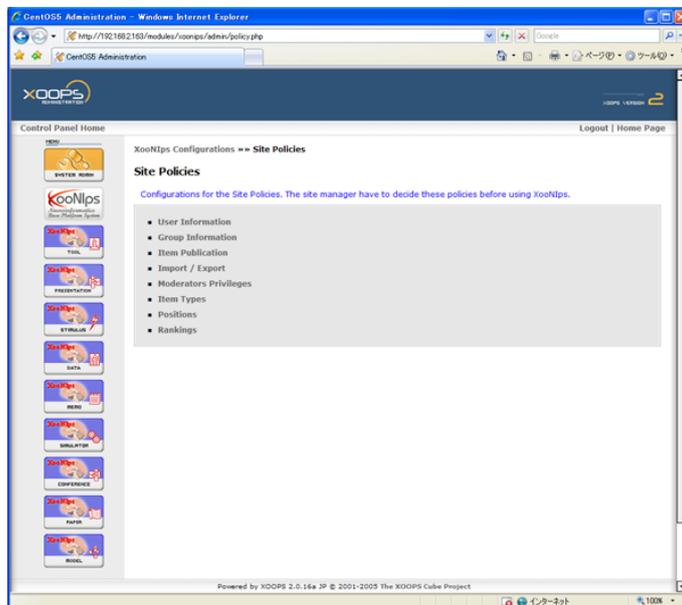


図 3.13. サイトポリシー設定

### 3.4.2. ユーザー情報の設定[User Information]

ユーザー情報の設定項目です

#### 注意

それぞれの項目について、submit ボタンを押して情報を反映させる必要があります。

- User Registration Policies

XooNips はユーザー登録後、機能が使える登録ユーザーになるためにはモデレーターの承認が必要です。

ユーザー登録した情報の有効化(アクティベーション)の他に XooNips を利用するためにはモデレーターの承認が必要です。

- Activation type

登録したユーザー情報を有効化する作業の手順を指定します。

- Requires activation by user(recommended)

ユーザー登録時のメールアドレスにユーザー情報の有効化を促すメールが送られます。ユーザーがメールに従い登録情報を有効化します。

- Activate automatically

ユーザー情報は登録後直ぐに有効になります。

- Activation by administrators

XOOOPS の administrator がユーザー情報を有効化します。

- Certification type

XooNips を利用出来るようにユーザーを承認する作業を行うか否かを指定します

- Certification by moderator  
XooNIps のモデレーターが XooNIps を利用出来るように承認をします。
- Certify automatically  
XooNIps への承認作業は行われず、ユーザーは登録後直ぐに XooNIps の利用が可能になります。
- Require fields in the profile editing form  
ユーザー登録の際、入力項目を必須入力(Required)とするか未入力可(Optional)とするかをそれぞれ指定します。
- Initial properties of newly registered users  
登録ユーザーが Private 領域に登録できるアイテムの上限と HDD の使用量の上限を指定します。
  - Maximum number of Items  
Private(個人領域)に登録出来るアイテムの上限数を指定します。
  - Maximum number of Indexes  
Private(個人領域)に登録出来るインデックスの数を指定します。
  - Maximum Strage size  
Private(個人領域)で使用される HDD の最大容量を MB 単位で指定します。

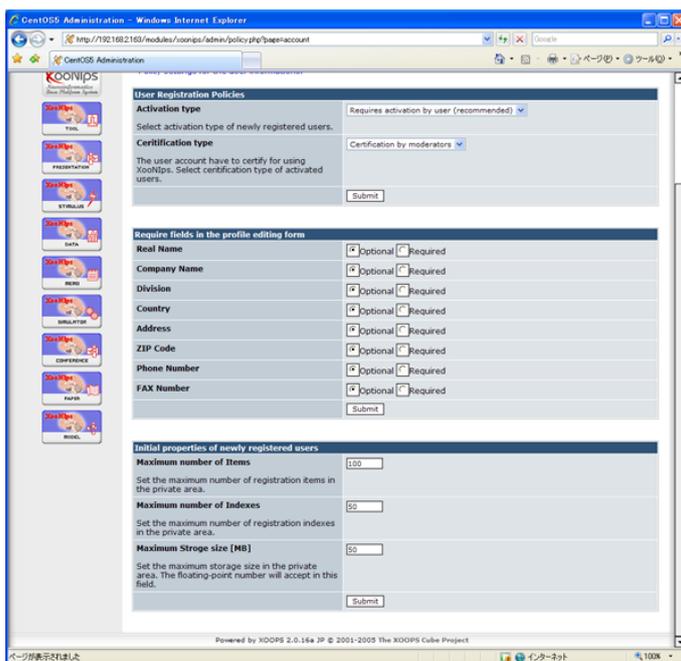


図 3.14. ユーザー設定

### 3.4.3. グループ情報の設定[Group Information]

グループ領域に登録できるアイテム数や HDD の使用量の上限を設定出来ます。

- Maximum number of Items  
Group(グループ領域)に登録出来るアイテムの上限数を指定します。
- Maximum number of Indexes  
Group(グループ領域)に登録出来るインデックスの数を指定します。
- Maximum Strage size

Group(グループ領域)で使用される HDD の最大容量を MB 単位で指定します。

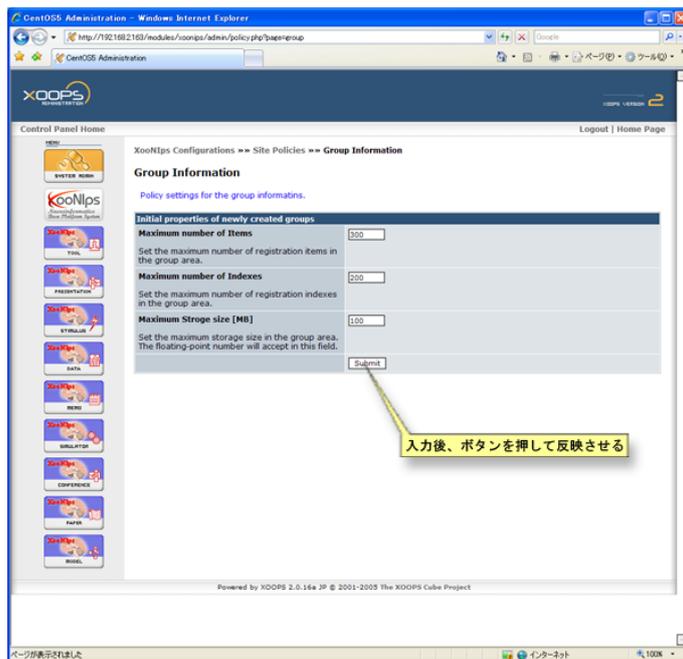


図 3.15. グループ設定

### 3.4.4. アイテム公開設定[Item Publication]

アイテムを公開領域に登録する際に必要な設定です

#### 注意

情報を反映させるためにはそれぞれの submit ボタンを押す必要があります。

- Item Publication Policies

アイテムを公開する際の承認作業とアクセスを許可するユーザーの選択をします。

- Certification type

公開領域にアイテムに登録する際の承認作業を行うか否かの設定です。

- Certification by moderators

承認作業をモデレーターが行います。承認されないとアイテムは公開領域に登録されません。

- Certify automatically

承認作業を行いません。アイテムは直ぐに公開領域に登録されます。

- Who can access to the public area?

公開領域に登録されているアイテムをダウンロード出来るユーザーを選択します。

- All users(including the guest user)

XooNIPS に登録していないゲストユーザーも含め全てのユーザーがアイテムをダウンロード出来ます。

- Registered user only

XooNIPS に登録している登録ユーザーのみアイテムをダウンロードできます。

- Related Other Policies

その他関連する設定項目です。

- Download file type  
ダウンロード時のファイル形式を指定します。
- Zipped with meta-informations  
メタデータを含めて ZIP 圧縮したファイルをダウンロードします。
- Original file  
アイテムのオリジナルファイル形式のままダウンロードします。
- Can users select the publication list from all public items?  
公開領域に登録されている全アイテムから業績アイテムを選択可能にする設定です。  
NO を選択すれば登録ユーザー本人が登録したアイテムからのみ選択可能となります。

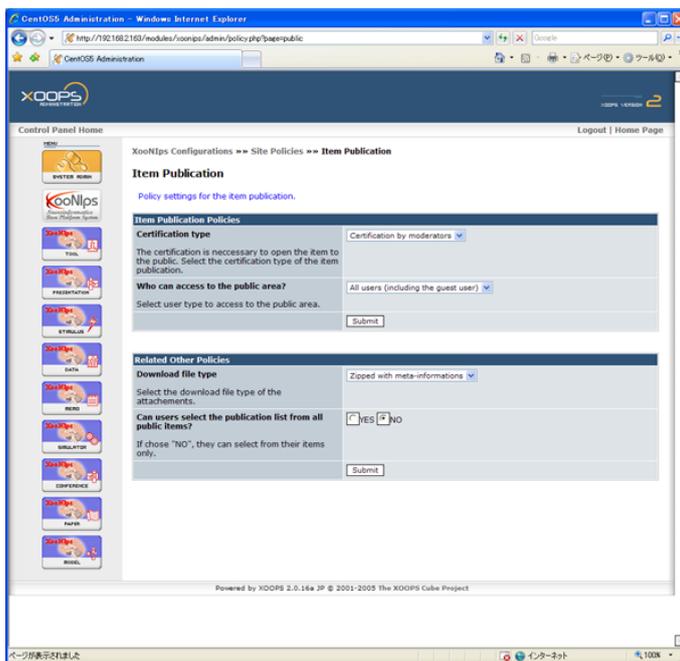


図 3.16. アイテム公開設定

### 3.4.5. インポートエクスポート[Import / Export]

インポート・エクスポートに関する設定です

#### 注意

設定情報を反映させるためにはそれぞれに対応した Submit ボタンを押す必要があります。

- Export  
エクスポートに関する設定です。
- Export enabled  
エクスポートの許可設定  
Yes を選択すると、登録ユーザーが自分の作成したアイテムをエクスポート出来るようになります。

#### 注意

モデレーターはこの設定に関わらず、何時でもアイテムをエクスポート出来ます。

- Export attachments

## 添付ファイルのエクスポート許可設定

Yes を選択すると、アイテムの添付ファイルをエクスポート出来るようになります。

- Import

インポートに関する設定です。

Yes を選択すると、登録ユーザーが自分の Private 領域にアイテムをインポート出来るようになります。

## 注意

モデレーターはこの設定に関わらず、何時でもアイテムをエクスポート出来ます。

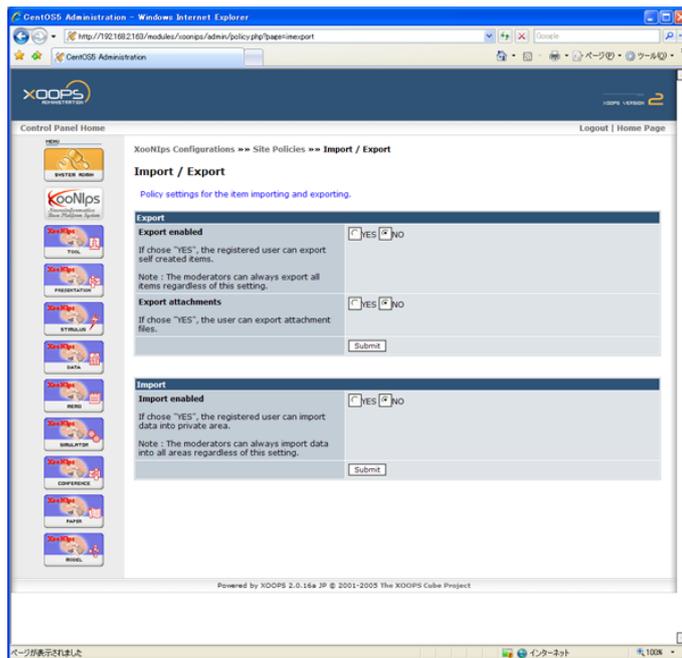


図 3.17. Import/Export 設定

### 3.4.6. モデレーター権限設定[Moderators Privileges]

モデレーターによるアイテムの編集を許可する設定です

Yes を選択すると、モデレーターは全登録ユーザーのアイテムを編修できるようになります。

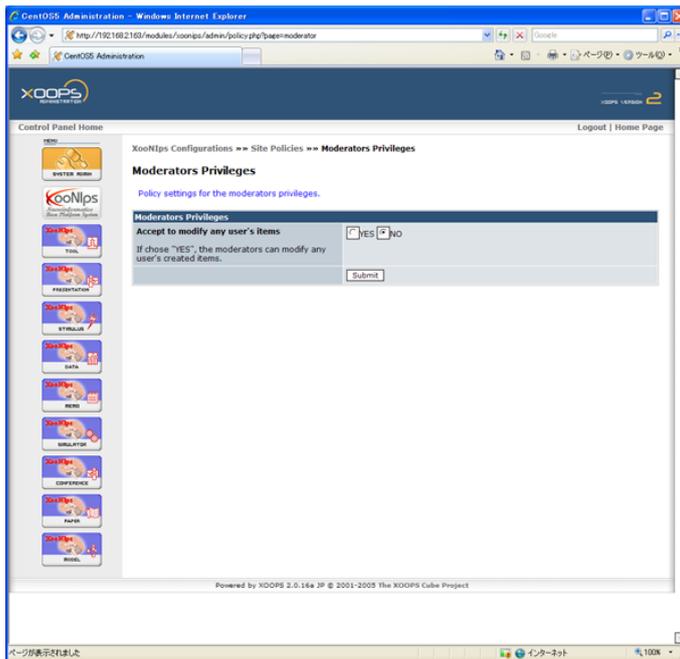


図 3.18. モデレーター権限

### 3.4.7. アイテムタイプ設定[Item Types]

アイテムタイプの表示順を設定します

XOOPS のブロックと同様に表示順を指定できます。

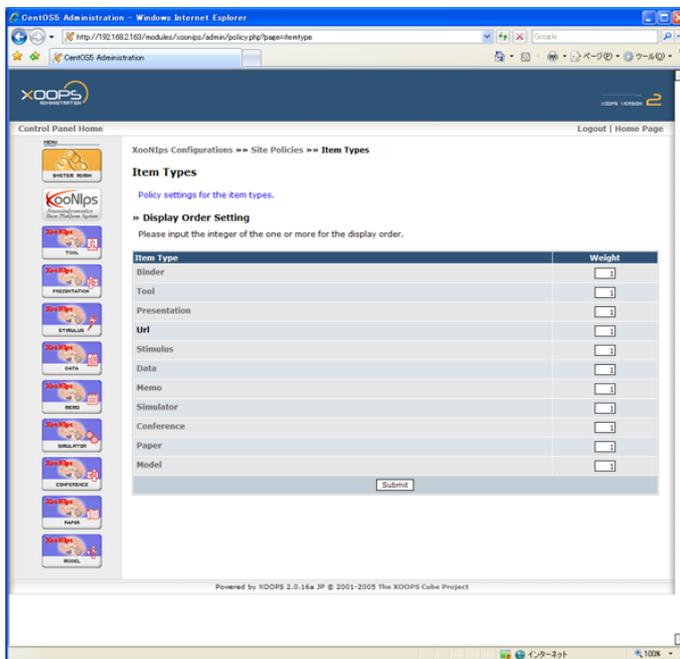


図 3.19. アイテム表示順設定

### 3.4.8. 職名の設定[Positions]

表示順と新規追加などの設定です

ユーザー情報の職名として選択可能な項目を設定します。

- Modify Positions

職名の変更と表示順の設定はテキストボックスに入力して UPDATE ボタンを押して情報を更新します。

Weight の数値順に UserList で表示されます。

Action の項目の X をクリックするとその項目は削除されます。

- Add New Position

新たに職名を追加することが出来ます。

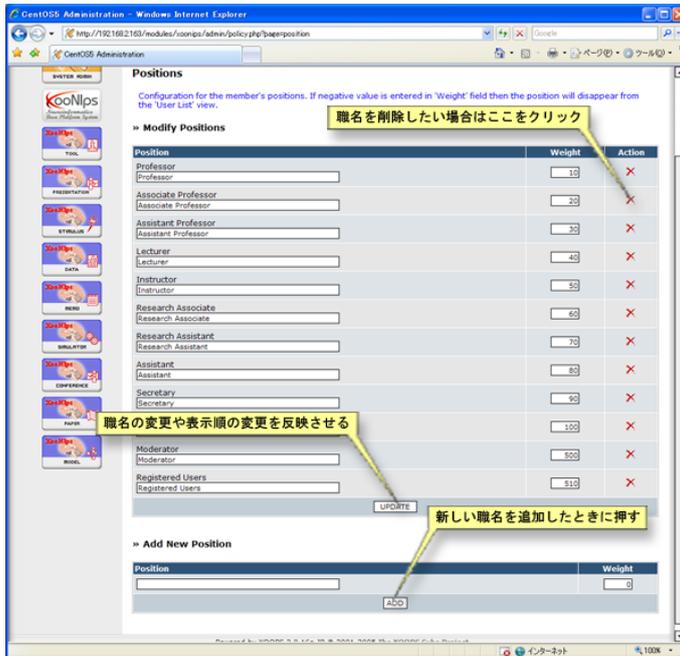


図 3.20. 職名の設定

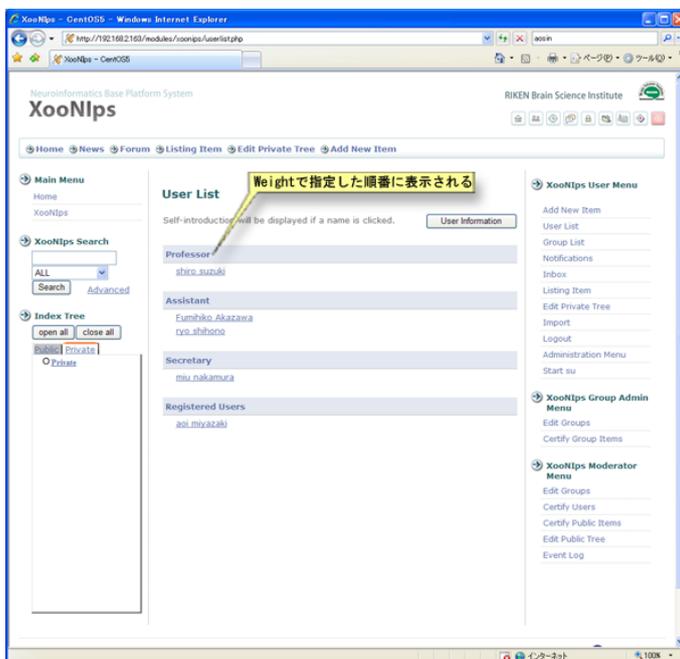


図 3.21. 表示結果

### 3.4.9. ランキング設定[Ranking]

ランキングの表示に関する設定です。

- Block:XooNIps Ranking

Visible の項目にチェックを入れると、項目が表示されるようになります。

Sort の三角で表示順の並べ替えが出来ます。ドロップダウンリストで4段分まで一度に上下することも可能です。

2 を選んで上三角をクリックすれば、項目は2 つ分上に移動します。

各ランキングの上位何件まで表示するかを決定できます。

- Block:XooNIps Update

新着情報の表示に関する設定です。

各新着情報の上位何件まで表示するかを決定できます。

- Calculation Days

ランキング対象期間の設定

チェックを入れた場合、その期間のファイルはランキングに反映されません。

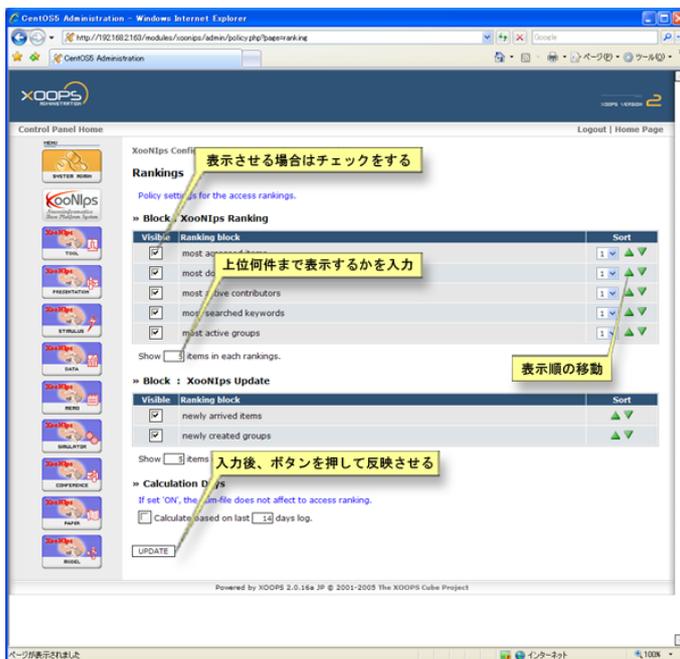


図 3.22. ランキング設定

## 3.5. 日常メンテナンス

ユーザーの追加や、メタデータのハーベストなど、日常的に行う作業項目です。

### 注意

Control Panel での操作になりますので、Webmasters 権限を持ったユーザーが操作を行います。

### 3.5.1. 日常メンテナンス[Maintenance]

XooNIps 運用上発生する日常的な作業についての説明です。

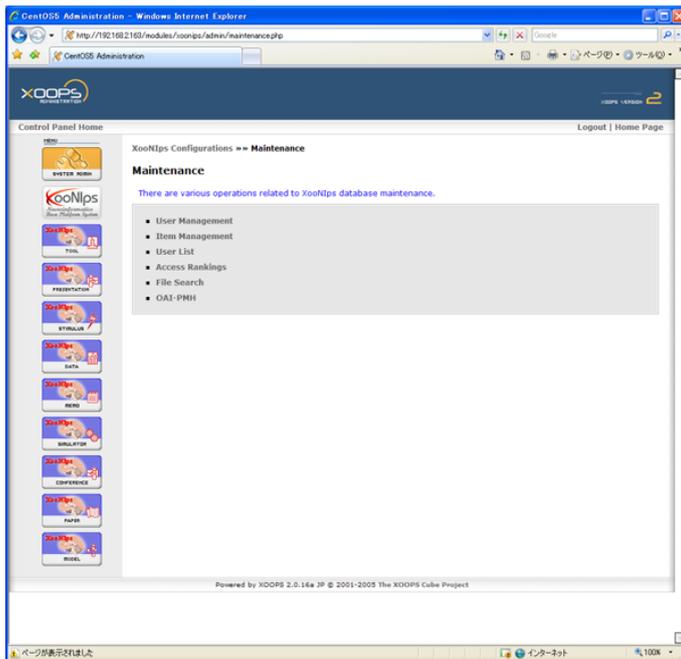


図 3.23. 日常メンテナンス項目

### 3.5.2. ユーザー管理[User Management]

ユーザー情報の編集、新規ユーザーの追加登録が出来ます。

#### 注意

ユーザーの削除機能は Version3.3 では動作保証がされていないので、ユーザーの削除は出来ません。今後のリリースをお待ちください。

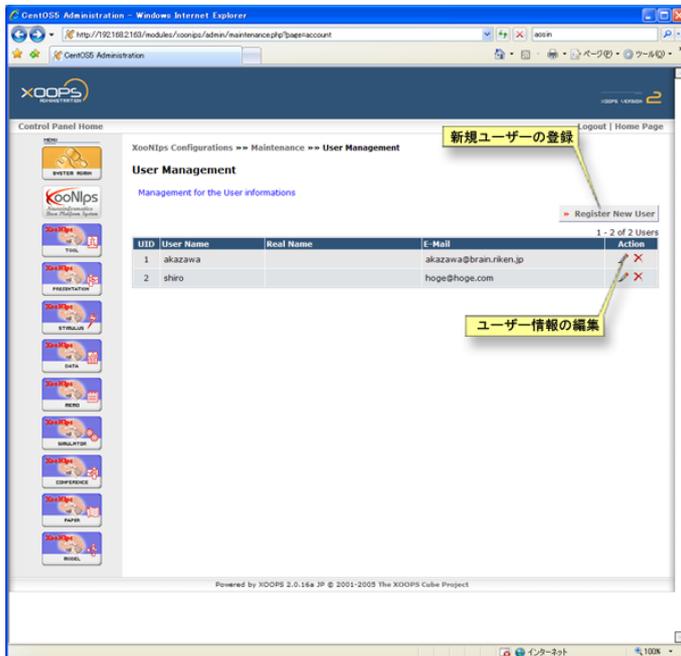


図 3.24. ユーザー管理画面

#### 3.5.2.1. 新規ユーザーの登録・既存ユーザー情報の編集

ユーザー情報の編集をします。\*は必須入力項目です。更新が終わったら画面最下部の Update ボタンを押して情報を反映させます。

パスワードの変更はここで変更が可能です。

## 注意

必須項目の数は SitePolicies の UserInformation で設定した項目により増減します。

- Nickname  
XooNIps サイト上で表示されるユーザーの名前を入力します。
- Name  
ユーザーの本名を入力します。
- Email  
E メールアドレスを入力します。ユーザー情報としてメールアドレスを公開する場合にはチェックボックスにチェックを付けます。
- URL  
URL を入力します。
- User's Groups  
ユーザーが所属するグループを選択します。
- Position  
ユーザーの役職名を選択します。
- Division  
ユーザーの所属を入力します。
- Company Name  
機関名・大学名・会社名などを入力します。
- Phone Number  
電話番号を入力します。
- FAX Number  
FAX 番号を入力します。
- Address  
住所を入力します。
- Country  
国名を入力します。
- Zipcode  
郵便番号を入力します。
- Time Zone  
タイムゾーンを選択します。
- Interest  
趣味を入力します。
- Free Description

自由記述項目です。

- Signature  
署名を入力します。投稿に署名を必ず追加する場合はチェックボックスにチェックを付けます。
- Password  
パスワードを変更する場合はパスワードを入力します。
- Retype Password  
上と同じパスワードをもう一度入力します。
- New Item Mail Notification(par days)  
新しいアイテムの登録があった際に送られるメールの間隔を日数で指定します。
- Maximum Private Items  
Private 領域の最大アイテム数を入力します。
- Maximum Private Indexes  
Private 領域の最大インデックス数を入力します。
- Maximum Disk Space for Private Items[MB]  
Private 領域の最大ディスク容量を MB 単位で入力します。
- Comments Display Mode  
コメントの表示モードを指定します。
- Comments Sort Order  
コメントの並び順を指定します。
- Rank  
ランクを指定します。
- Notification Method  
イベント通知メッセージの受け取り方法を指定します。
- Default Notification Mode  
イベント通知メッセージの通知タイミングを指定します。
- Receive occasional email notices  
当 XooNIps サイトの新着情報等をメールで受け取るか否かを指定します。

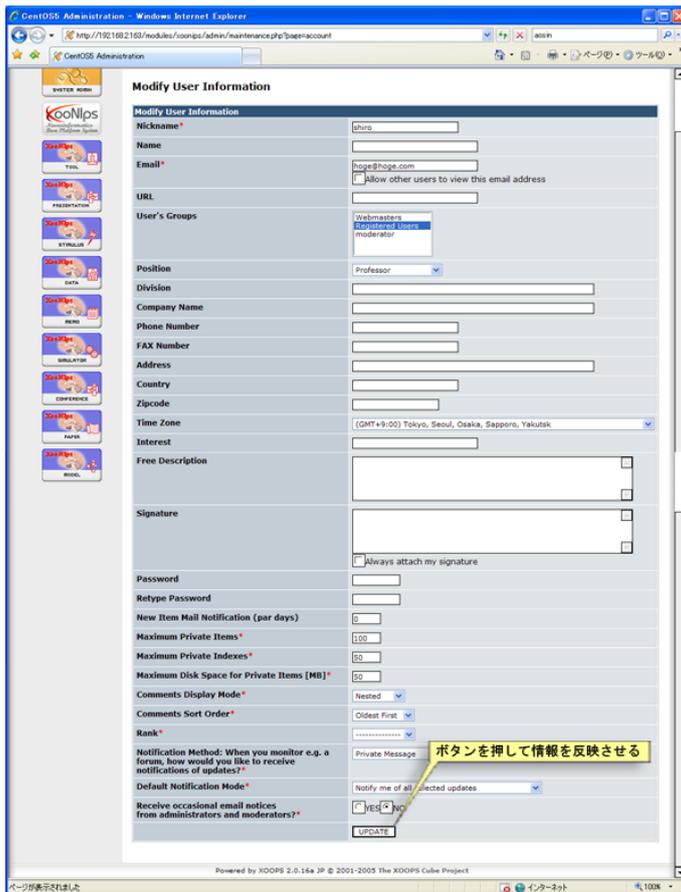


図 3.25. ユーザー情報編集画面

入力された情報は XooNips User Menu の UserList から確認出来ます。

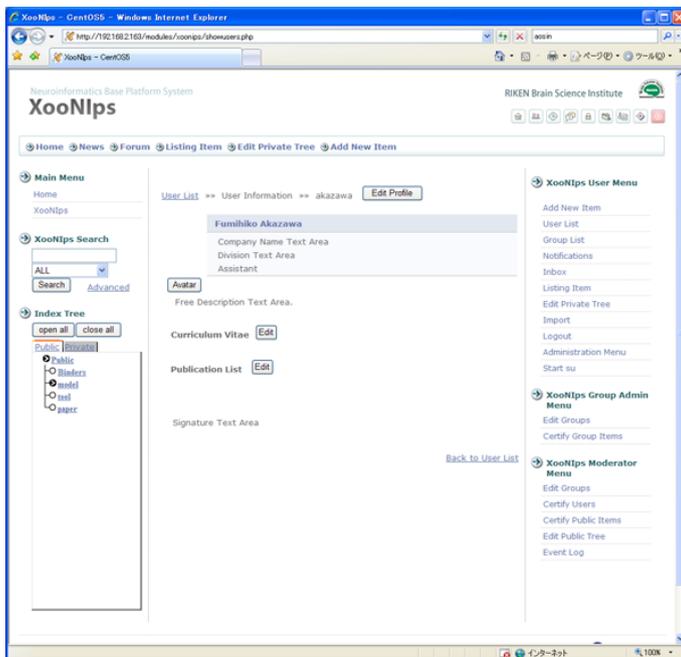


図 3.26. ユーザー情報表示画面

### 3.5.3. アイテム管理[Item Management]

公開アイテムの一括取り下げ、ユーザー毎のアイテムの一括削除が出来ます。

## 警告

影響範囲が大きいため操作は慎重に行ってください。

- Withdraw Items

公開アイテムの一括取り下げ

- Delete Items

アイテム一括削除

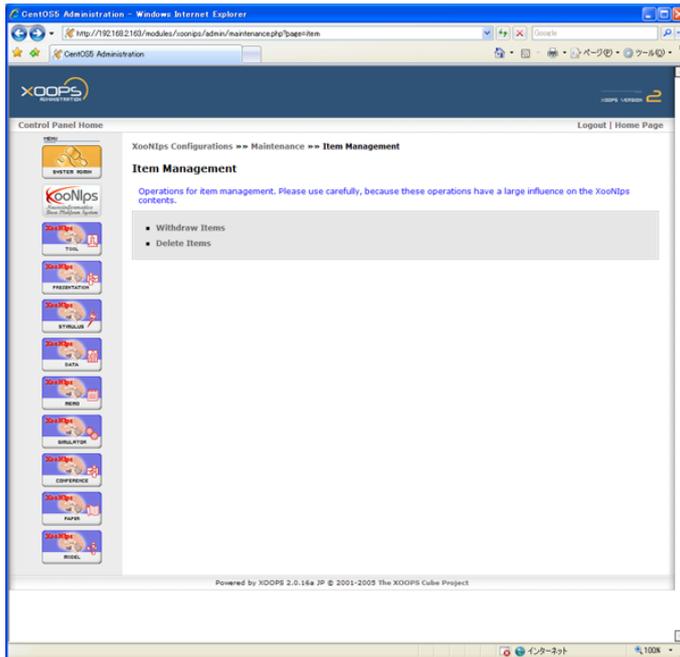


図 3.27. アイテム管理画面

### 3.5.3.1. 公開アイテムの一括取り下げ[Withdraw Items]

Public に登録されているアイテムをインデックス毎に選択して削除することが出来ます。

## 注意

Public index への公開が取り下げられるのみでアイテムが削除されることはありません。

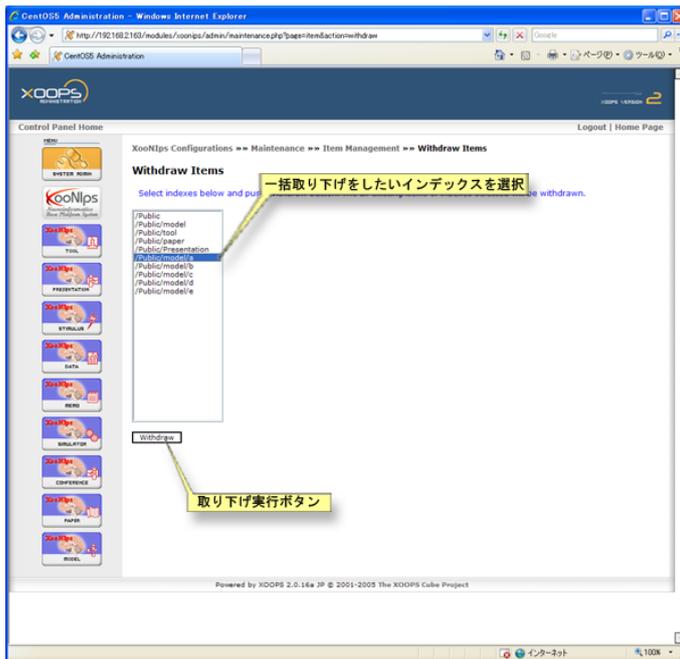


図 3.28. 公開アイテム一括取り下げ

### 3.5.3.2. アイテム一括削除[Delete Items]

ユーザーのアイテムをインデックス毎に削除することができます。

ドロップダウンリストからユーザーを選択します

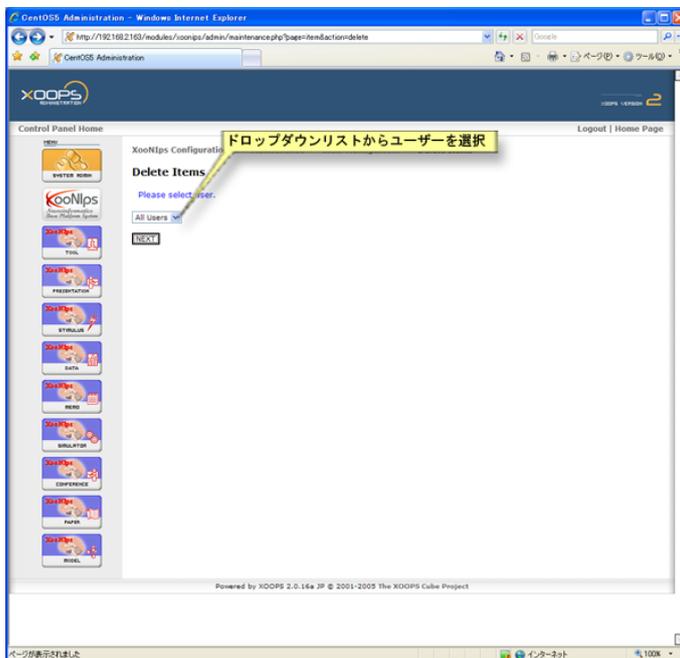


図 3.29. アイテム一括削除 1

一括削除したいインデックスを選択して、DELETE ボタンを押すと削除が実行されます。

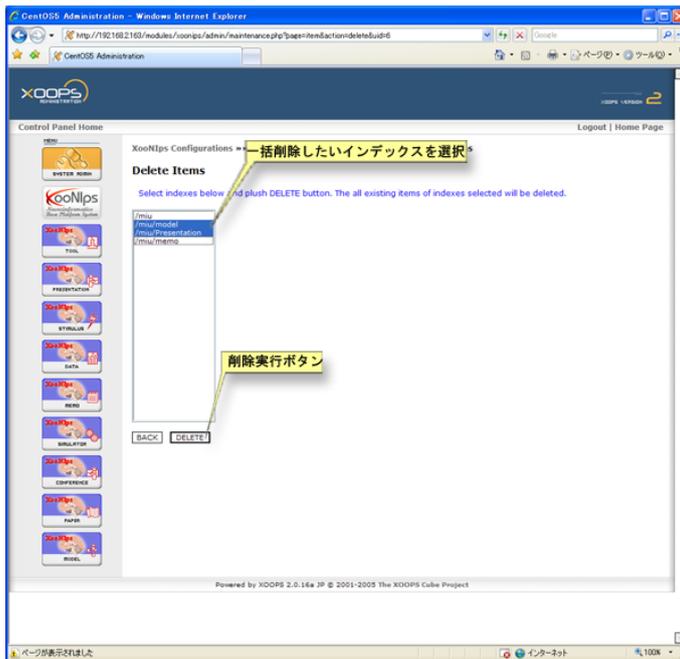


図 3.30. アイテム一括削除 2

### 3.5.4. ユーザーリストの表示順設定[User List]

Weight の項目に職名内での表示順を設定して UPDATE ボタンを押すことによって変更が反映されます。表示順が 0 未満ならそのユーザーは表示されません。

#### 注意

ここでの表示順設定は職名内でのみ有効となります。

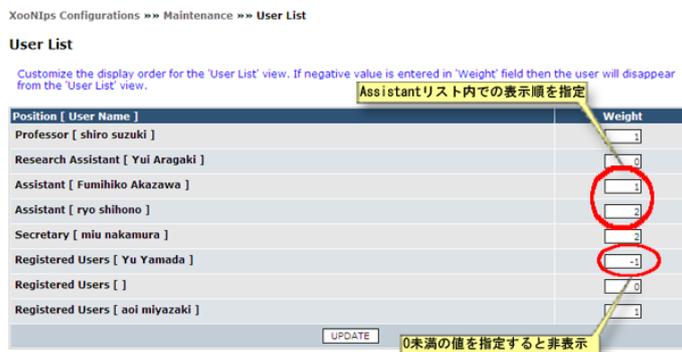


図 3.31. ユーザー表示順設定

表示結果は XooNips メニューの UserList から確認出来ます。

## User List

Self-introduction will be displayed if a name is clicked. User Information

**Professor**  
shiro suzuki

**Research Assistant**  
Yui Aragaki

**Assistant**  
Fumihiko Akazawa  
ryo shihono

**Secretary**  
miu nakamura

**Registered Users**  
aoi miyazaki

指定した順番に表示される

0未満を指定したユーザーは表示されない

図 3.32. ユーザー表示順設定結果画面

### 3.5.5. アクセスランキングの設定[Access Rankings]

アクセスランキング情報ファイルのダウンロードとアップロード、数値のクリアが出来ます

アクセスランキング集計値はイベントログから自動生成されます。

アクセスランキングファイルをダウンロードしておくことでイベントログを消去した際、Upload の項目から保存しておいたランキングファイルをアップロードすることで、継続して集計が可能になります。

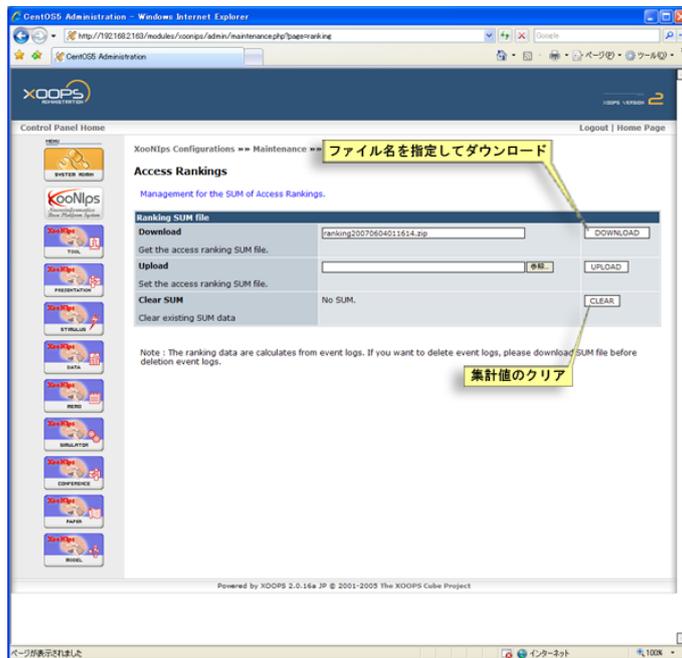


図 3.33. ランキングファイル設定

### 3.5.6. ファイル検索に関する設定[File Search]

ファイル検索用のインデックスの確認ができます

- File Search Plugin

利用可能な検索プラグイン一覧を表示します。

- Rescan All Files

Rescan ボタンを押すと、全てのファイルをスキャンして検索用インデックスの再構築をします。

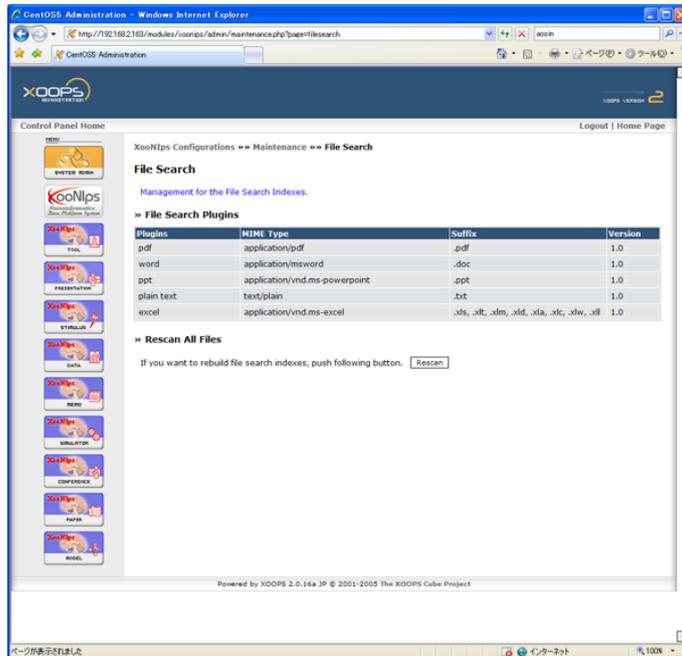


図 3.34. ファイル検索設定

### 3.5.7. OAI-PMH 設定[OAI-PMH]

OAI-PMH のハーベスト実行と結果の確認が出来ます。

#### 注意

メタデータのハーベストは手動で実行する必要があります。

- Repository URLs

リポジトリ URL の設定画面に遷移して、編修が出来ます。

- Recent Results

前回の実行結果を表示します。

- Harvest

Harvest Now ボタンを押すと、直ちにハーベストを実行します。

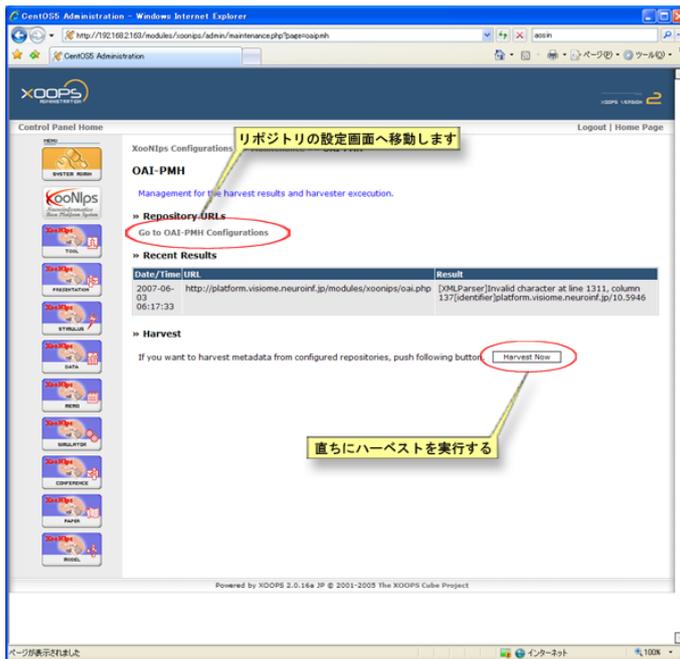


図 3.35. OAI-PMH 設定

# 第4章 システム操作編

実際にシステムを利用する際に必要な操作を解説します

## 4.1. ゲスト

ゲスト時の操作説明

### 4.1.1. 公開情報の検索・閲覧

ゲスト時は Public に登録されているアイテムの検索と閲覧が出来ます

インデックスツリー・アイテムタイプをクリックすることで一覧表示されます。

キーワード検索ボックスではアイテムタイプを指定しての検索や、メタデータの検索も選択することが出来ます。

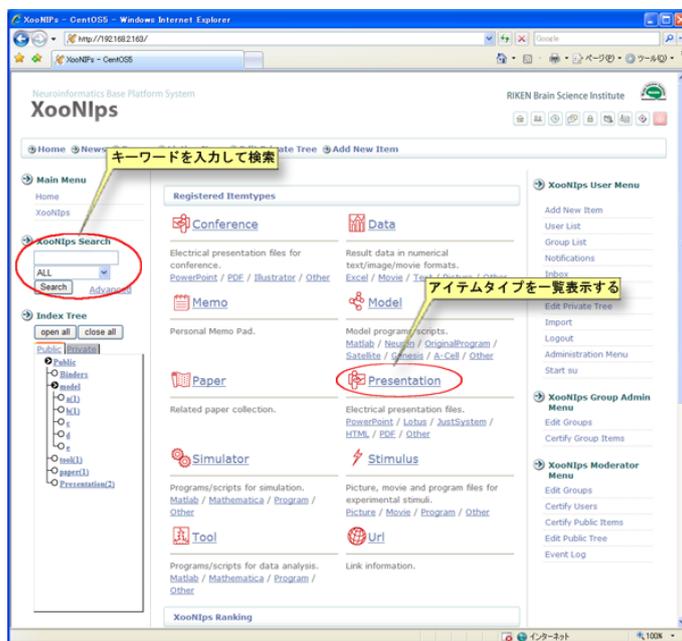


図 4.1. ファイル検索設定

Order by の項目で並べ替えが出来ます。アイテムタイプによって並べ替えの条件は異なる場合があります。

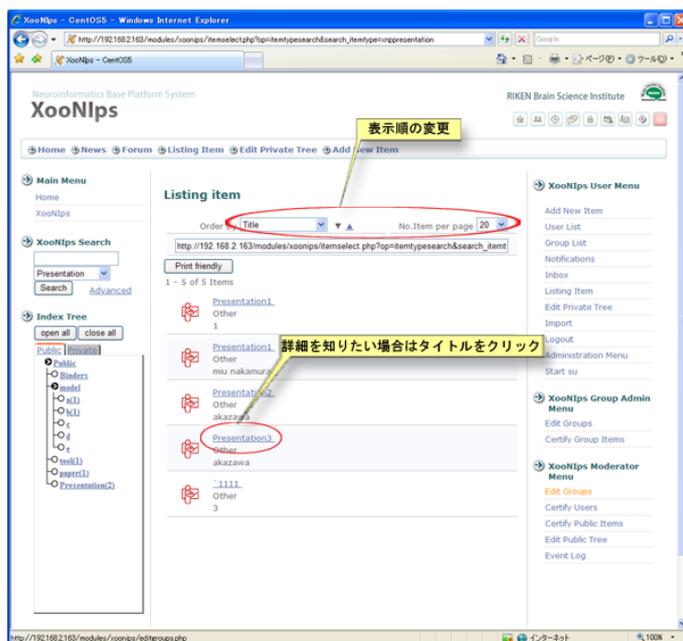


図 4.2. 検索結果画面

詳細画面では登録者がゲストユーザーにもダウンロードを許可している場合のみダウンロードボタンが表示されます。

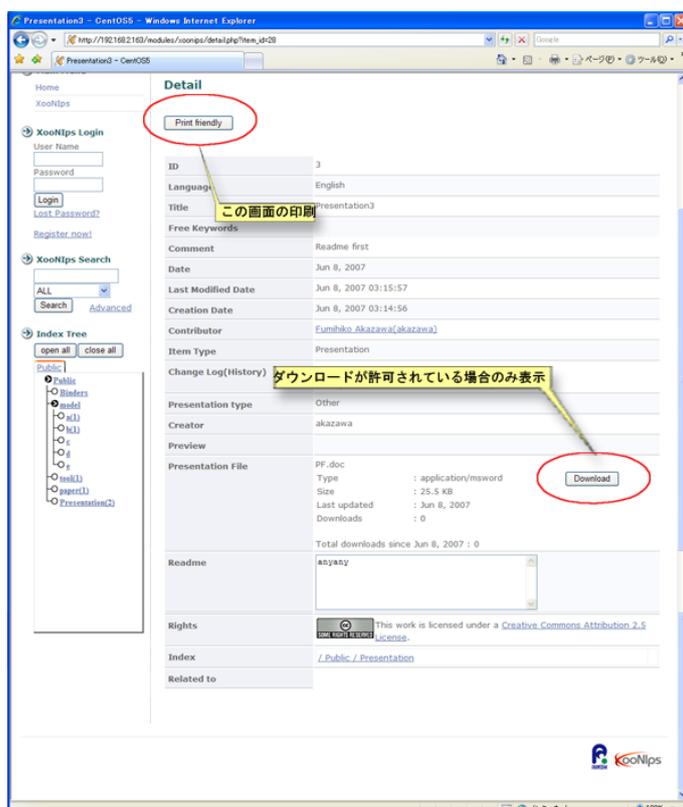


図 4.3. 詳細結果画面

ライセンス条項に同意する場合のみダウンロードすることが可能です。

download file information

PF.doc  
 Type : application/msword  
 Size : 25.5 KB  
 Last updated: Jun 8, 2007

license agreement

Please read the following license agreement carefully.  
 This work is licensed under a [Creative Commons Attribution 2.5 License](#).  
 I accept the terms in the license agreement.  
 I do not accept the terms in the license agreement.

Acceptance is needed to download this file.

図 4.4. ライセンス条項確認画面

### 4.1.2. 詳細検索

アイテムタイプ毎にさらに条件を詳しく設定して検索することが出来ます。

XooNipsSearch ボックスの横にある Advanced のリンクをクリックします。

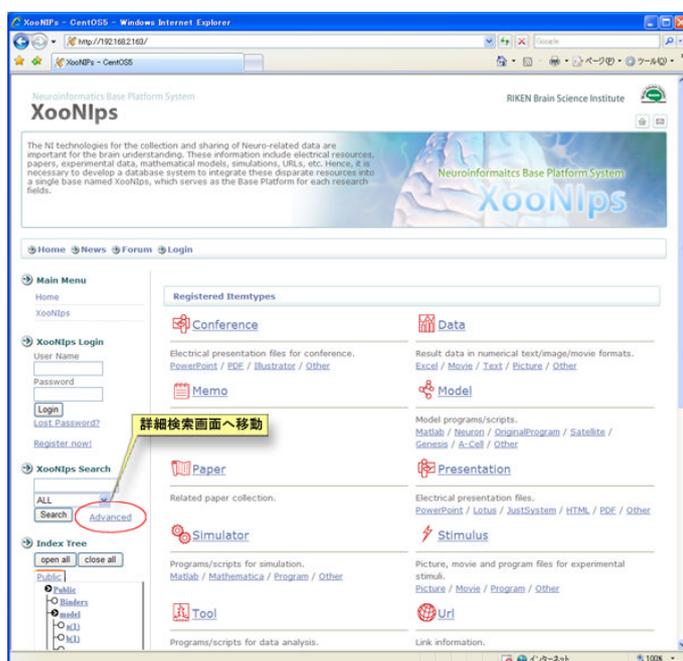


図 4.5. 詳細検索画面へ移動

検索したいアイテムタイプにチェックを入れて検索条件を指定し、画面上下に設置されている Search ボタンを押すと検索されます。

複数検索も可能です。

### 注意

インストールされているアイテムタイプが多い場合は画面をスクロールさせてください。

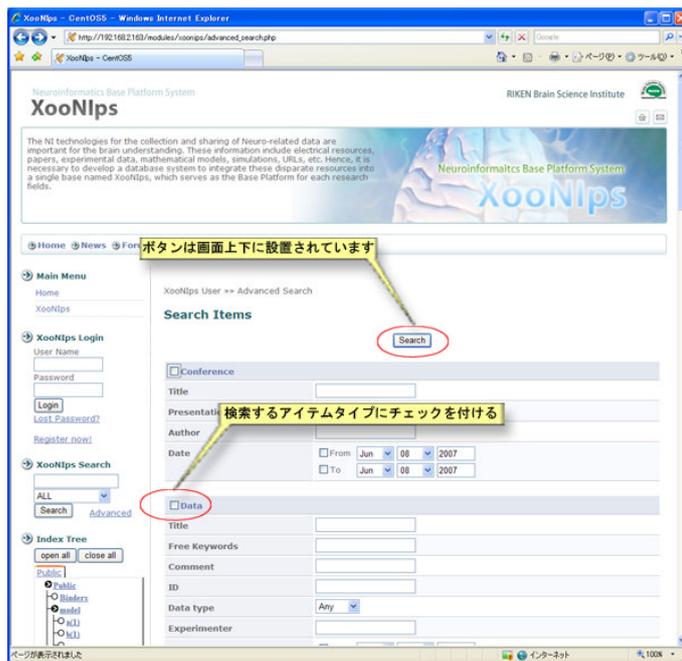


図 4.6. 詳細検索画面

### 4.1.3. ランキング情報

アクセスランキングの情報からリンクをクリックすれば、アイテムや研究者情報に直接アクセスすることが出来ます。

#### 注意

ランキングブロックの表示設定がされていない場合には表示されません。

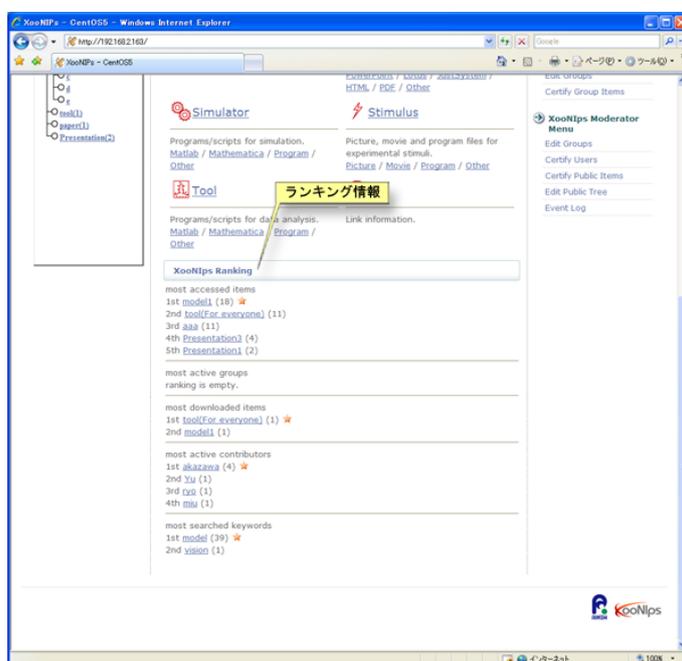


図 4.7. ランキング情報画面

### 4.1.4. サイト入会・登録

新規ユーザー登録の概要を説明します。

#### 4.1.4.1. サイト登録の流れ

XooNips の機能を利用出来るようになるにはユーザー登録の他にモデレーターによる承認が必要です。

#### 注意

サイトポリシーの設定により自動で承認される場合もあります。

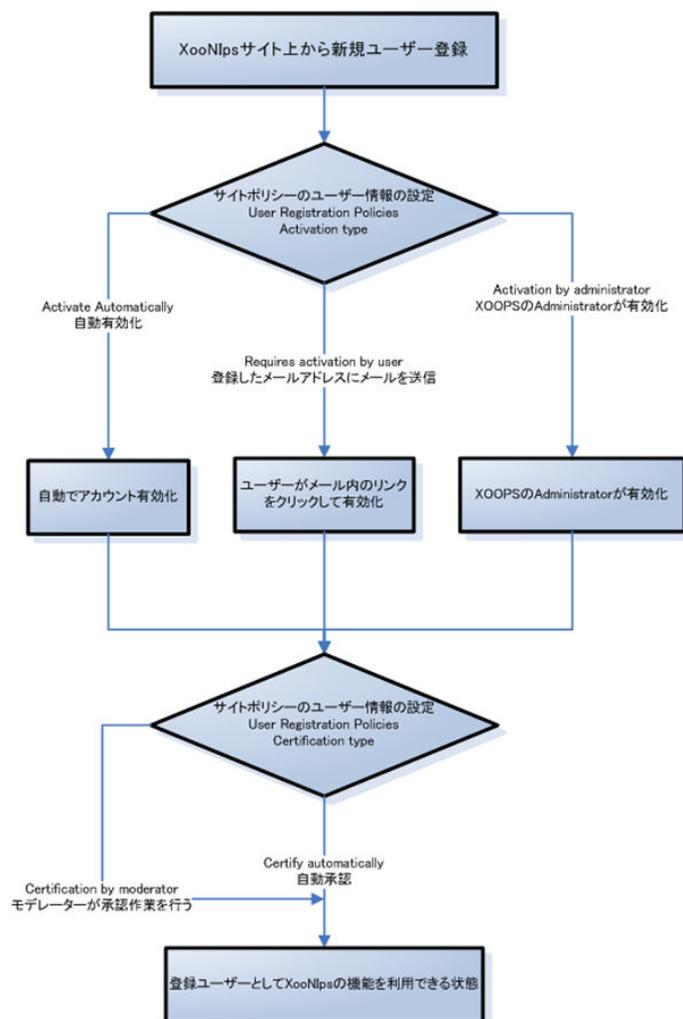


図 4.8. 登録の流れ概要図

#### 4.1.4.2. 登録の手順

新規登録のリンクをクリックします。

#### 注意

サイトのデザインによってこの位置にあるとは限りません。

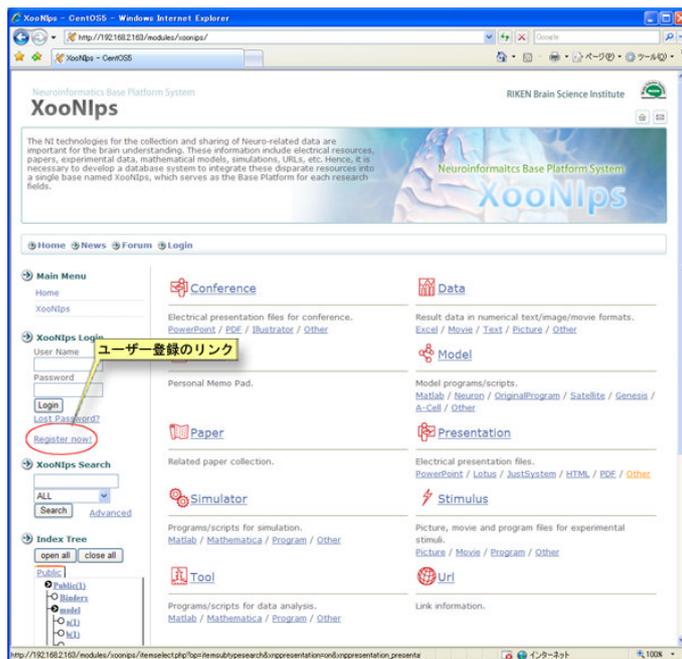


図 4.9. 新規入会リンク

必要事項に情報を入力して登録を行ってください。

サイトポリシーで必須入力とされている項目には\*が付いています。

サイトポリシーの設定によっては登録作業後にモデレーターの承認が必要となります。

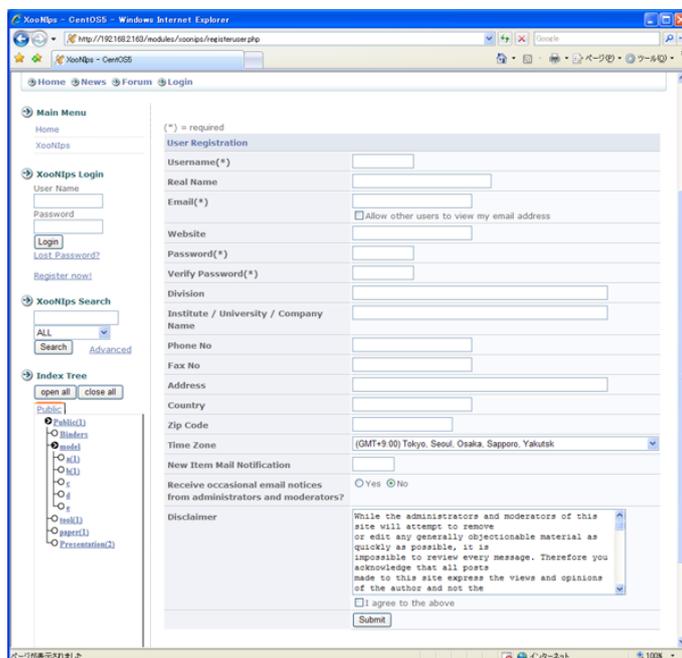


図 4.10. 新規登録画面

## 4.2. 登録ユーザー時の操作

登録ユーザー時の操作

### 4.2.1. ログイン

ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

## 注意

サイトのレイアウトによってはこの位置にあるとは限りません。

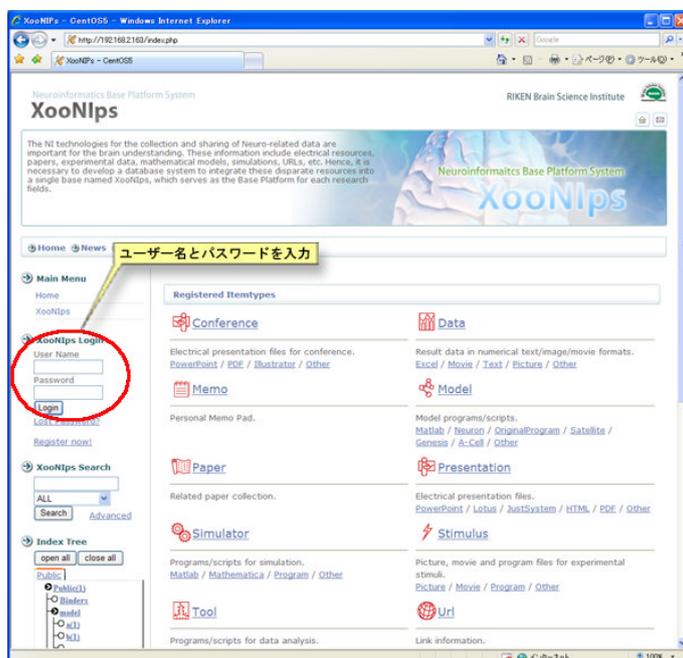


図 4.11. ログイン

## 4.2.2. ログアウト

logout のリンクやログアウトのボタンをクリックしてログアウトしてください。

## 注意

サイトのレイアウトによってはこの位置にあるとは限りません。

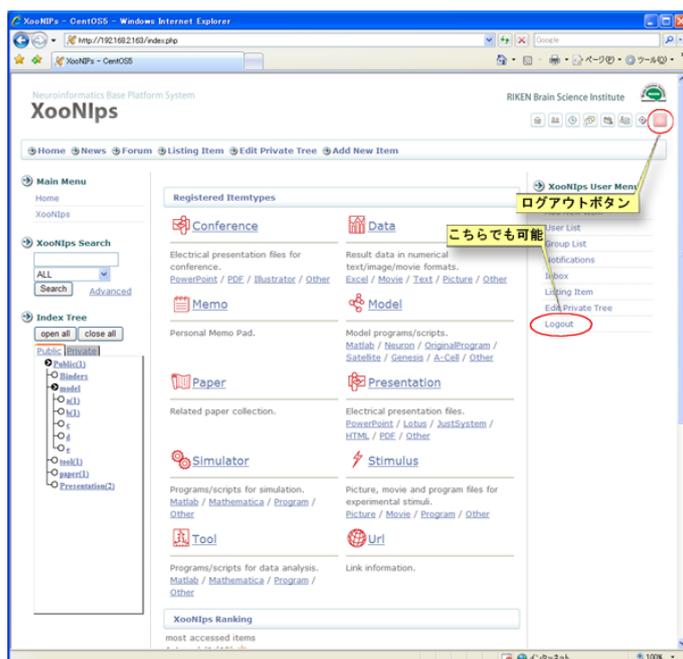


図 4.12. ログアウト

### 4.2.3. プライベートインデックスツリー編集

アイテムを管理する個人領域のインデックスツリーの編集が出来ます。

XooNips User Menu の Edit Private Tree のリンクをクリックします。

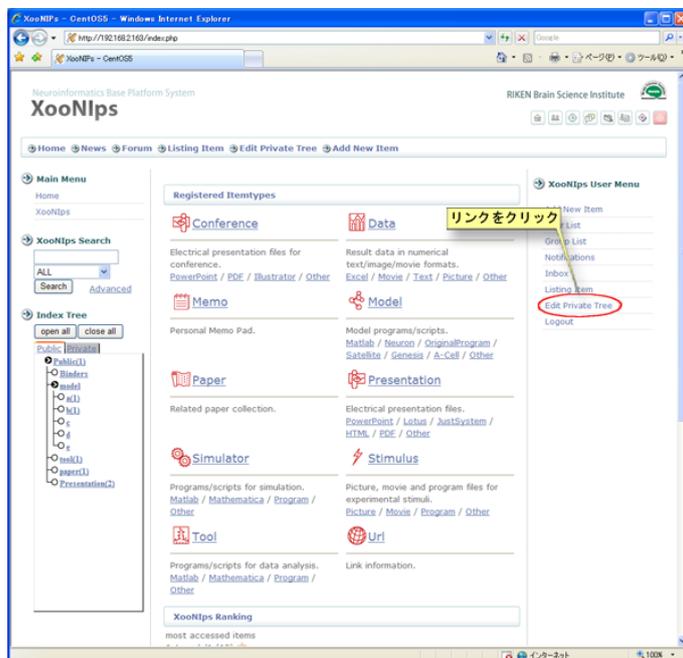


図 4.13. プライベートツリー編集

#### 1. Keyword の新規登録

New Index Keyword に作成したい Keyword を入力して register ボタンを押します。



図 4.14. プライベートツリー編集

Private ツリーの直下に登録されます。



図 4.15. プライベートインデックスへの Keyword 新規登録

## 2. Keyword の変更

登録した Keyword は修正することが出来ます。

操作したい Keyword のチェックを入れた後、新しい Keyword を入力して rename ボタンを押します。

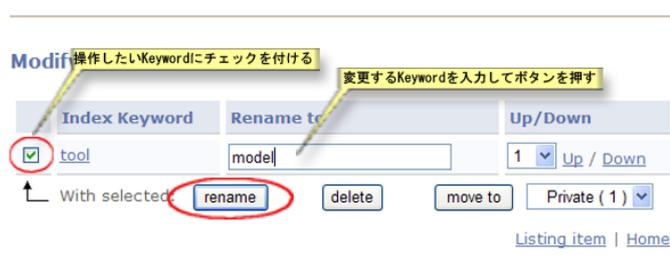


図 4.16. Keyword の変更

keyword[tool]が[model]に変更されています。



図 4.17. Keyword 変更後の Index

## 3. Keyword の削除

削除したい Keyword のチェックを入れた後、delete ボタンを押します。



図 4.18. Keyword の削除



図 4.19. Keyword の削除後の Index

## 4. Keyword の表示順の変更

Keyword の表示順の変更が出来ます。

Up/Down の左にあるドロップダウンリストで 1 ~ 10 までの数を指定しての移動も可能です。

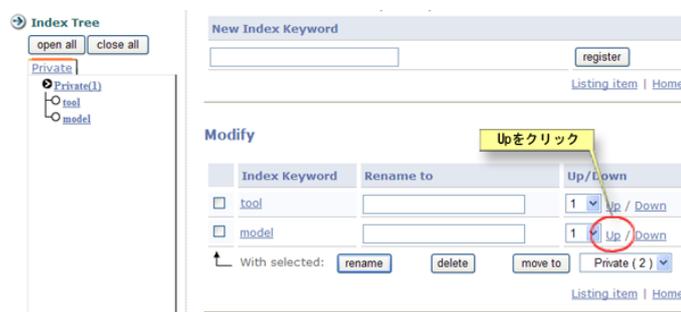


図 4.20. Keyword の表示順変更



図 4.21. Keyword 表示順変更後の Index

## 5. Keyword の移動

Keyword の移動が出来ます。

move to ボタンの右にあるドロップダウンリストで移動先を選択後、ボタンを押します。



図 4.22. Keyword の移動

移動の確認は IndexTree の上にある open all ボタンを押すか、Keyword の左にある矢印アイコンをクリックします。



図 4.23. Keyword 移動の確認

Keyword[tool]が[model]の下に移動している事が確認出来ます。



図 4.24. Keyword 移動後の Index

## 4.2.4. アイテム管理

### 4.2.4.1. アイテム登録

アイテムの登録方法を説明します。

XooNips User Menu から Add New Item のリンクをクリックします。

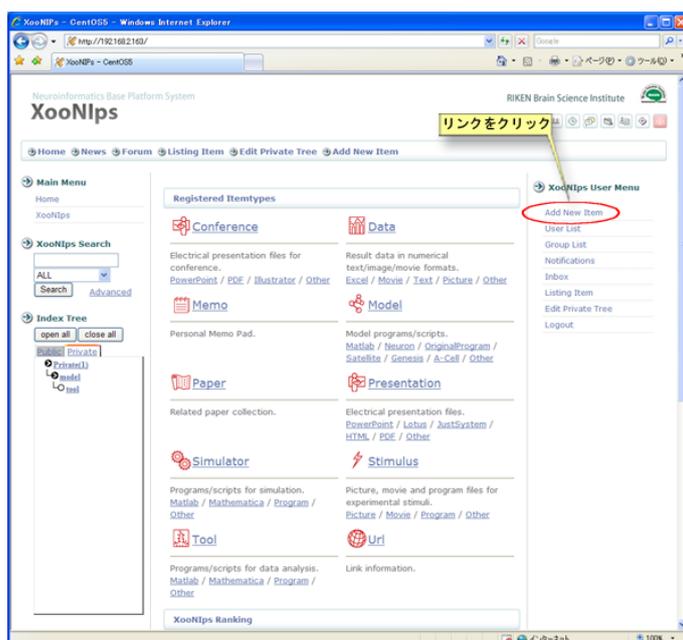


図 4.25. アイテムの新規登録

画面中央のドロップダウンリストから登録したいアイテムタイプを選択します。

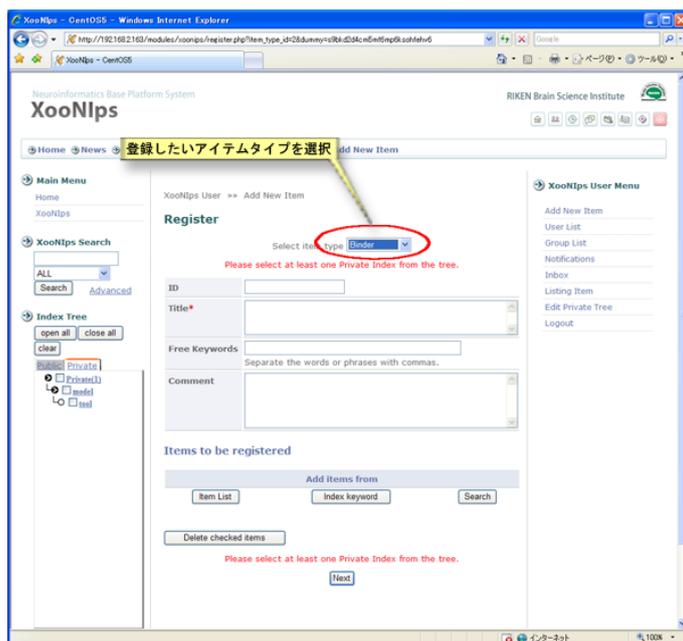


図 4.26. 新規登録アイテムタイプの選択

アイテムタイプを選ぶと登録画面が表示されます。

少なくとも一つの登録したい Private index keyword にチェックを付けます。

赤色の\*は必須入力項目です。

## 注意

IDの項目は XooNips 内で固有の一意の値となります。(文字列の入力も可能です)

The screenshot shows the 'Register' form for a 'Tool' item. The form is divided into several sections:

- Search and Indexing:** Includes 'XooNips Search' and 'Index Tree'. The 'Index Tree' shows a tree structure with 'test' checked under 'Private(1)'. An annotation points to this checkbox: '登録したいKeywordにチェック'.
- Item Information:** Fields for ID (123), Language (English), Title (tool for XooNips), Free Keywords (XooNips tools), Comment (for XooNips user), Date (Jun 10 2007), and Tool type (Program).
- Download Settings:** Includes 'Download Limitation' (Login User selected) and 'Download Notification' (No selected). Annotations point to these sections: '別ウィンドウが開く'.
- Readme and Rights:** Includes a 'Readme' section and 'Rights' (Some rights reserved selected). An annotation points to the 'Rights' section: '別ウィンドウが開く'.
- Indexing:** Includes an 'Index\*' section with a 'Related to' text box. An annotation points to this text box: '別ウィンドウで検索したItemIDをここに入力する'. Below it is a 'Search items(new window)' button.
- Navigation:** A 'Next' button is at the bottom, with an annotation pointing to it: '確認画面へ移行'.

図 4.27. アイテムの登録(TOOL)

- Download Limitation

このアイテムをダウンロードできるユーザーをログインユーザーに限定するか、ゲストも含めた全てのユーザーにダウンロードを許可するかを選択します。

- Download Notification

上記オプションでログインユーザーを選択した場合のみ有効なオプションとなります。

通知の設定はサイトのシステム設定に依存します。

- Readme 入力ウィンドウ

Readme の Edit リンクをクリックすると、別のウィンドウが開きます。ファイルの指定、テキストボックスへの入力後 OK を押すと登録画面に反映されます

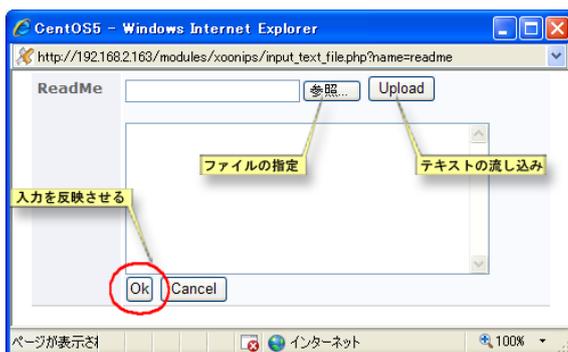


図 4.28. Readme の入力

- Rights

Creative Commons ライセンスの設定が出来ます。Edit のリンクをクリックすると別ウィンドウが開きますので、独自のライセンスを設定することも可能です。

Rights 入力ウィンドウ

Rights の Edit リンクをクリックすると、別のウィンドウが開きます。ファイルの指定、テキストボックスへの入力後 OK を押すと登録画面に反映されます。

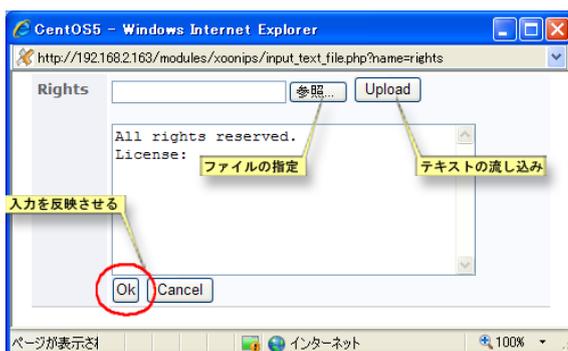


図 4.29. Rights の入力

- Related to

関連するアイテムを指定することが出来ます。

### 注意

関連するアイテムは Item ID で指定します。この ID はシステムが自動で割り振る数値で、ユーザーが登録の際に入力する ID の項目とは違います。

Search items(new window)のボタンを押すと別ウィンドウが開きますので、アイテムの検索をすることが出来ます。

Related to 検索ウィンドウ

Related to の Search items ボタンをクリックすると関連したアイテムを検索するための別ウィンドウが開きます。

Index Tree や SearchBox を使って関連するアイテムの Item ID を調べることが出来ます。

### 注意

この画面は検索のみで ItemID を入力できません。実際の入力は登録画面で行います。

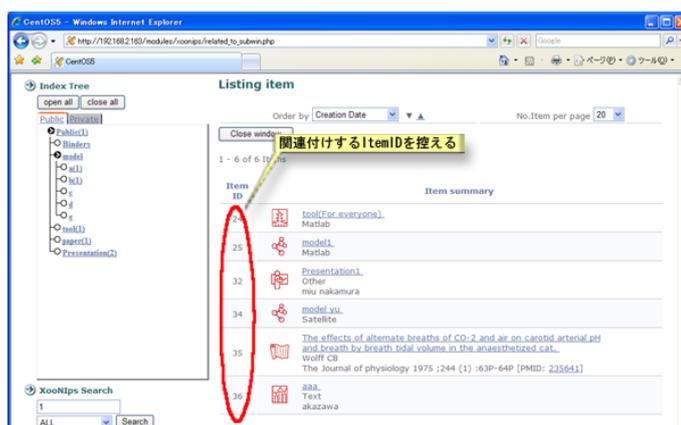


図 4.30. 関連アイテムの検索

Next ボタンを押すと確認画面が表示されます。Register ボタンを押すとアイテムが登録されます。

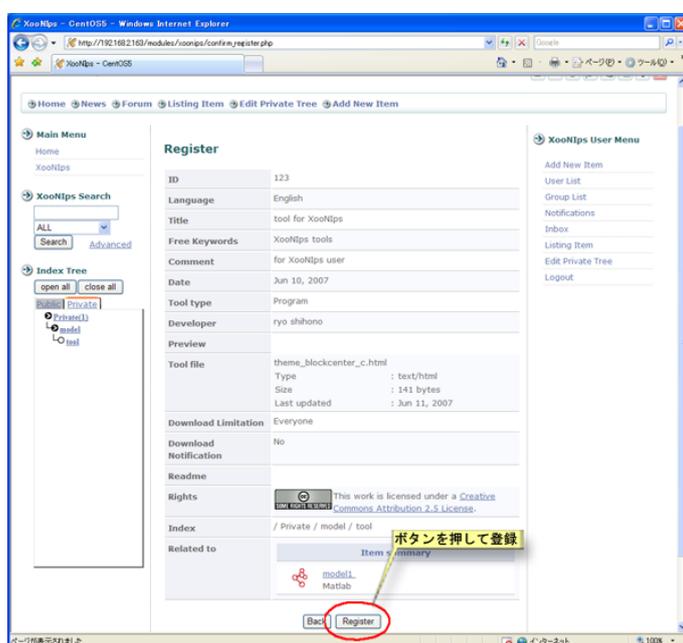


図 4.31. アイテム登録確認画面

#### 4.2.4.2. アイテムの編集

Index Tree や SearchBox を利用して編集したいアイテムの Detail 画面を表示させます。

## Detail

ID	123
Language	English
Title	tool for XooNips
Free Keywords	XooNips tools
Comment	for XooNips user
Date	Jun 10, 2007
Last Modified Date	Jun 11, 2007 01:09:21
Creation Date	Jun 11, 2007 01:09:21

図 4.32. アイテム詳細画面

編集画面が表示されますので、項目を修正して Next ボタンを押して情報を反映させます。

## Modify

Number of Items: 1 / 100  
Storage of Items: 0.00MB / 1000.00MB

ID	<input type="text" value="123"/>
Language	<input type="text" value="English"/>
Title*	<input type="text" value="common tools for XooNips"/>
Free Keywords	<input type="text" value="XooNips tools"/> <small>Separate the words or phrases with commas.</small>
Comment	<input type="text" value="for XooNips user"/>
Date	<input type="text" value="Jun"/> <input type="text" value="10"/> <input type="text" value="2007"/>
Last Modified Date	Jun 11, 2007 01:09:21

 [確認画面へ移行](#)

図 4.33. アイテム修正画面



図 4.34. アイテム詳細画面 2

#### 4.2.4.3. アイテム削除

アイテムの削除

Index Tree や SearchBox を利用して削除したいアイテムの Detail 画面を表示させます。

Delete ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されますので Yes を選択して削除します。



図 4.35. アイテム削除画面

#### 4.2.4.4. Binder アイテムタイプについて

Binder は他のアイテムを一つにまとめて管理することが出来るアイテムタイプです。

Binder に登録するアイテムを指定する方法は以下の 3 通りです。

- Item List

アイテムの一覧から選択します。

- Index keyword

Index Tree を利用して Binder に登録するアイテムを選択します。

- Search

詳細検索を利用して Binder に登録するアイテムを選択します。



図 4.36. Binder 登録画面

## 1. Item List での選択

登録可能なアイテム(Public Index に登録されているアイテムとユーザーの Private Index に登録されているアイテム)の一覧から選択します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、Select ボタンを押して確定します。



図 4.37. Binder 登録画面 ListItem

## 2. Index keyword での選択

Index Tree をクリックしていくことで、Binder に登録するアイテムを選択します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、Select ボタンを押して確定します。

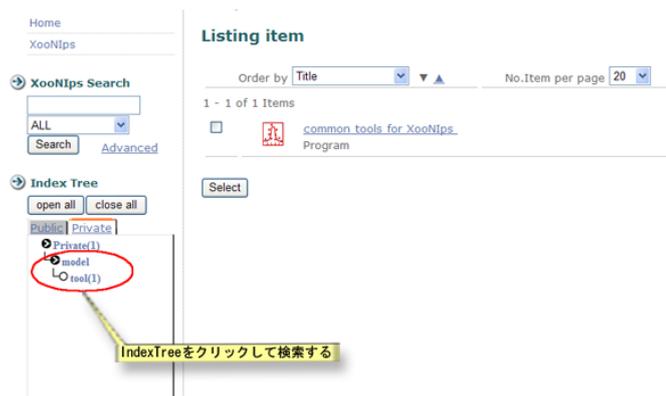


図 4.38. Binder 登録画面 Indexkeyword

### 3. Search での選択

詳細検索画面が表示されますので、詳細検索と同様に Binder に登録したいアイテムを検索します。

登録するアイテムにチェックを付けた後、Select ボタンを押して確定します。

Binder に登録するアイテムを選択後、Next ボタンを押して登録します。

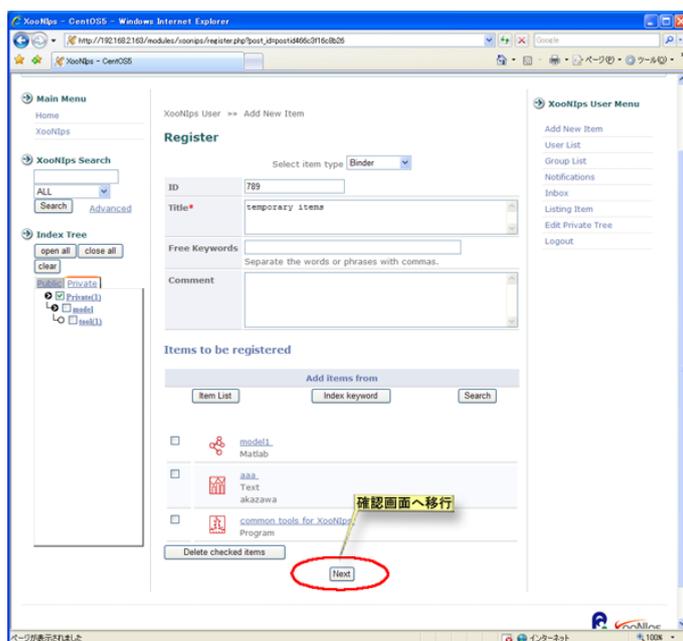


図 4.39. Binder 登録確認画面

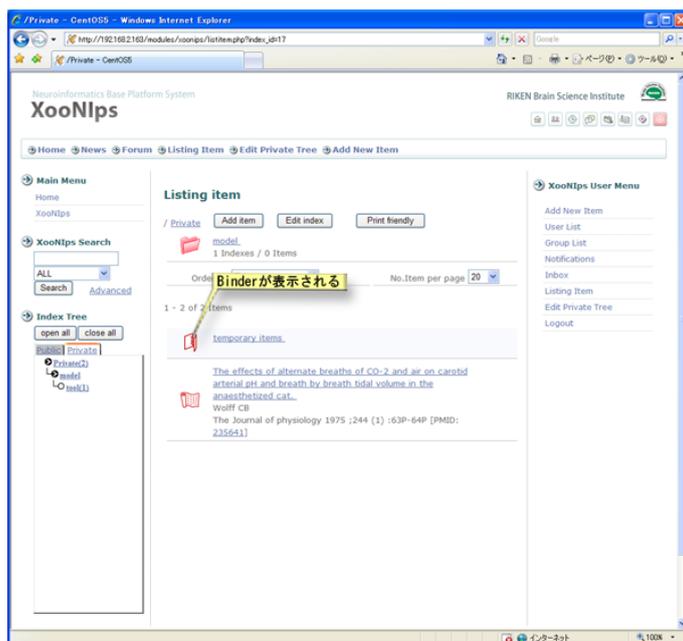


図 4.40. Binder 登録確認画面 2

#### 4.2.4.5. Paper アイテムタイプの登録

Paper アイテムの登録画面には PubMedID の項目があります。PubMedID がわかっている場合には PubMedID を入力して Complete ボタンを押すとその他の情報が自動で補完されます。

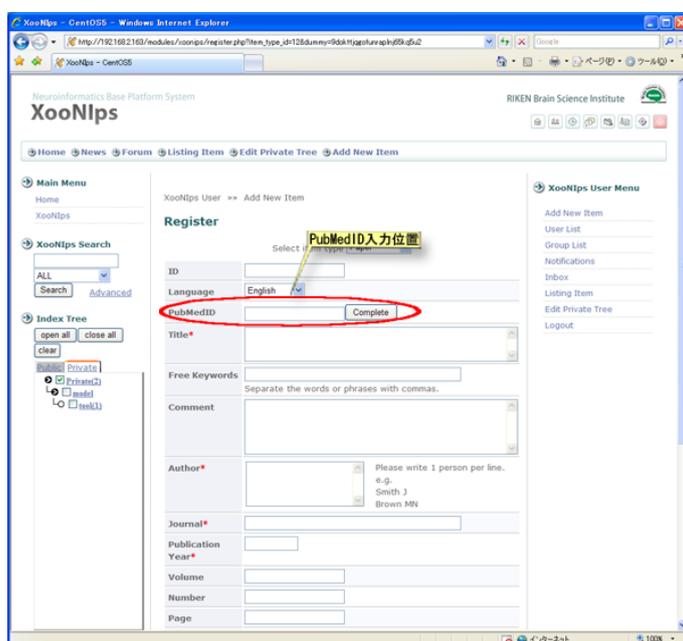


図 4.41. Paper 登録画面

#### 4.2.4.6. Book アイテムタイプの登録

Booka アイテムの登録画面には ISBN コードの項目があります。ISBN コード(10桁)がわかっている場合には ISBN コード(10桁)を入力して Complete ボタンを押すとその他の情報が自動で補完されます。その際の URL には amazon の書籍情報詳細ページが補完されます。

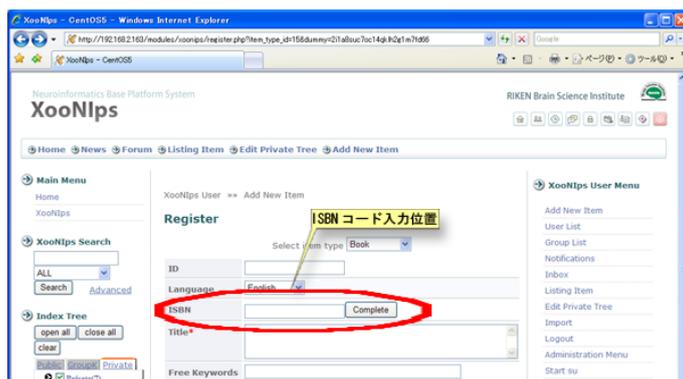


図 4.42. Book 登録画面

## 4.2.5. アイテムの公開

アイテムを Public 領域に登録するためにはサイトポリシーの設定によってモデレーターの審査・承認が必要な場合があります。

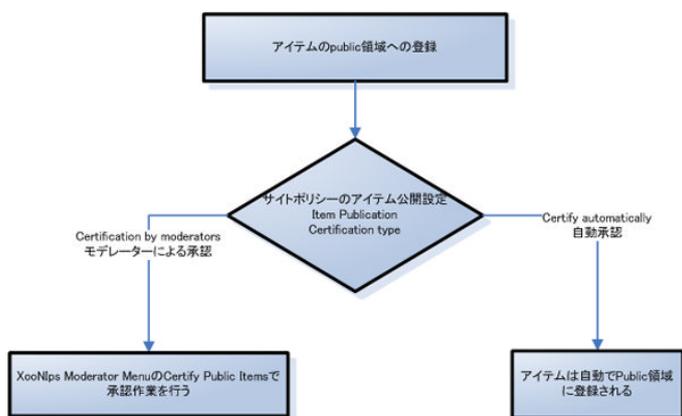


図 4.43. アイテム公開フロー

### 4.2.5.1. アイテムの公開

Public 領域に登録して公開したいアイテムを Index Tree や XooNips Search で検索して、Detail 画面を表示します。

ドロップダウンリストから登録したい Public 領域の Index keyword を選択して、Submit ボタンを押します。

#### Detail



図 4.44. 公開アイテム登録画面

サイトポリシーの設定によってはモデレーターの審査・承認が必要ですので、Public 領域に直ぐに登録されるとは限りません。



図 4.45. 公開アイテム確認画面

#### 4.2.5.2. アイテムの取り下げ

公開中のアイテムを非公開に取り下げることができます

public 領域に登録されているユーザーのアイテム Detail 画面を表示します。

Withdraw ボタンを押すと確認のダイアログが表示されるので Yes を選択して public 領域にアイテムを公開することを取り下げます。



図 4.46. 公開アイテム取り下げ

#### 4.2.6. グループ

XooNIps では登録ユーザーでグループを作ることができます。

グループにはグループ内で情報を共有できる領域が与えられます。

##### 4.2.6.1. グループに参加

XooNIps に登録されているグループを検索します。

グループ管理者となっているユーザーにグループに追加してもらうよう、メールや PM(Private Message)で連絡を取ります。

グループへのユーザー追加登録作業は、グループ管理者またはモデレーターが行います。



図 4.47. 登録グループの確認

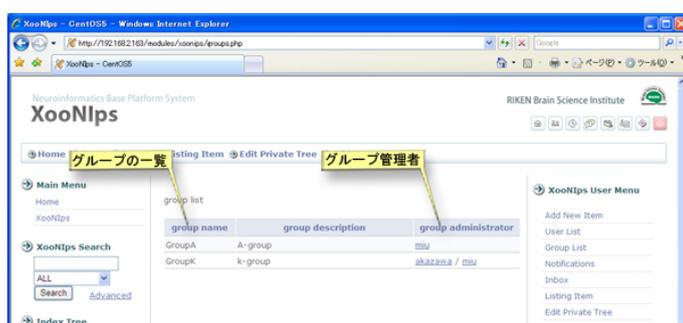


図 4.48. 登録グループの確認 2

グループに参加すると、所属グループのタブが Index Tree に表示されます。

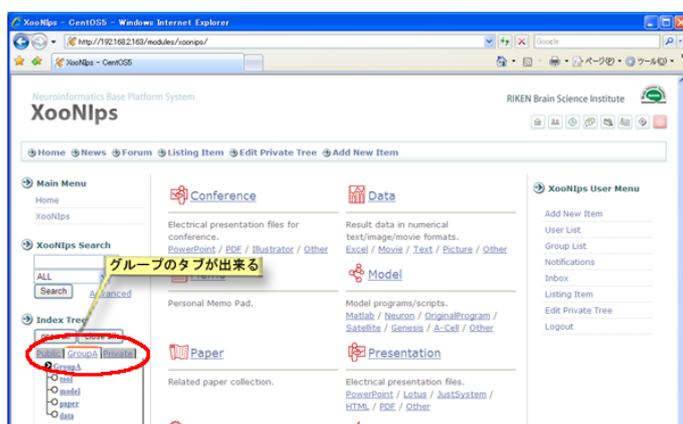


図 4.49. 所属グループのタブ

#### 4.2.6.2. アイテムの共有

ユーザーが Private 領域に登録しているアイテムをグループで共有することが出来ます。

登録したいグループの IndexKeyword をクリックします。

詳細検索画面が表示されますので、共有させたいアイテムを検索してください。

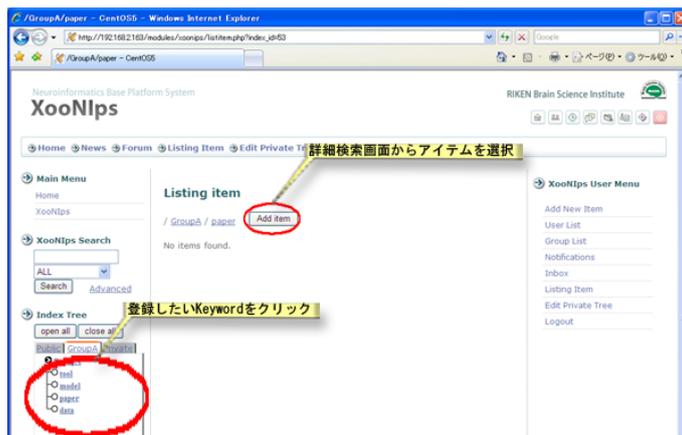


図 4.50. グループ Index への登録

グループ Index へ登録して共有したいアイテムにチェックを付けます。

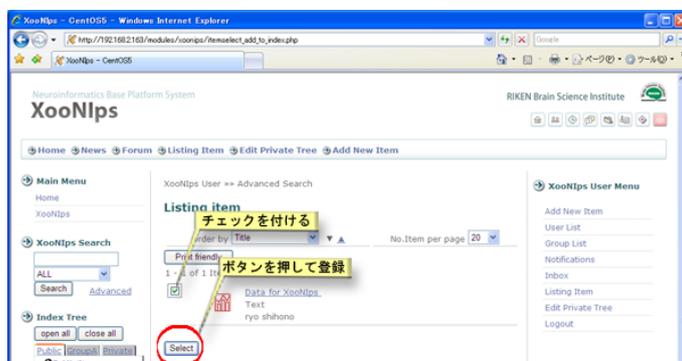


図 4.51. グループ Index への登録 2

グループ管理者、またはモデレーターの審査・承認が完了するまで他のユーザーからはアイテムは見ることが出来ません。



図 4.52. グループ Index への登録 2

#### 4.2.6.3. 共有アイテムの取り下げ

共有中のアイテムの共有を取り下げることが出来ます。

グループ Index Tree や検索を利用して取り下げたいアイテムの Detail 画面を表示します。

Index の項目にある Withdraw ボタンを押すと確認のダイアログが表示されますので Yes を選択してアイテムの共有を取り下げます。

**Detail**

Modify Delete Print friendly

ID	666
Language	English
Title	Data for XooNIps
Free Keywords	
Comment	
Date	Jun 11, 2007
Total downloads since Jun 11, 2007	: 1
Readme	<div style="border: 1px solid gray; height: 40px; width: 100%;"></div>
Rights	 This work is licensed under a <a href="#">Creative Commons Attribution 2.5 License</a> .
Index	<a href="#">/ GroupA / paper</a> <span style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">Withdraw</span> <a href="#">/ Private</a>
Related to	

Add to public index  
Public ( 5 )

図 4.53. グループ共有の取り下げ

#### 4.2.6.4. グループからの退会

グループから退会する場合は参加の場合と同様に、グループ管理者かモデレーターに連絡を取ってください。ユーザーのグループからの退会処理はグループ管理者、またはモデレーターが行います。

### 4.3. グループ管理者

グループ管理者が出来ることの説明です。

#### 4.3.1. グループメンバー管理

XooNIps Group Admin Menu の Edit Groups をクリックします。

#### 注意

サイトのデザインによってはこの位置にあるとは限りません。

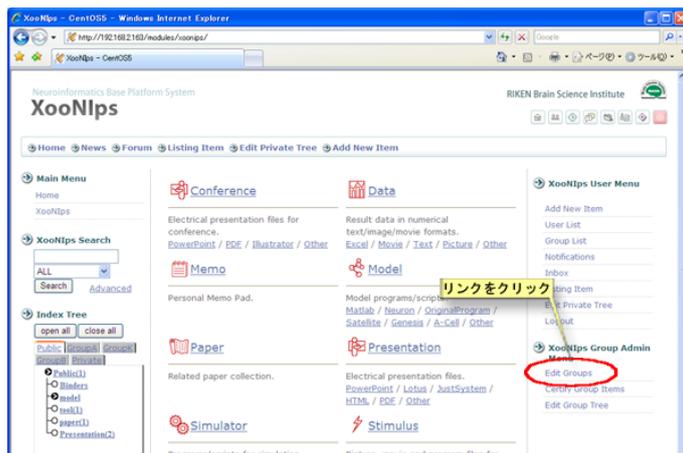


図 4.54. グループメンバーの追加・削除

複数のグループ管理者の権限を持っている場合は更にメンバーの追加・削除を行うグループ名をクリックします。



図 4.55. グループメンバーの追加・削除 2

#### 4.3.1.1. メンバーの追加

Non-members のリストからユーザーを選択して、add ボタンを押してメンバーに追加します。

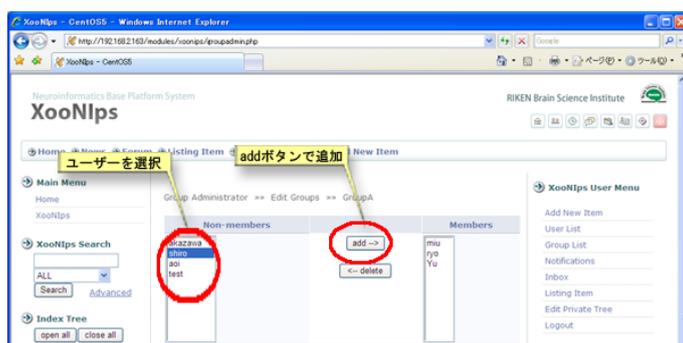


図 4.56. グループメンバーの追加

#### 4.3.1.2. メンバーの削除

Members のリストからユーザーを選択して、delete ボタンを押してメンバーから削除します。

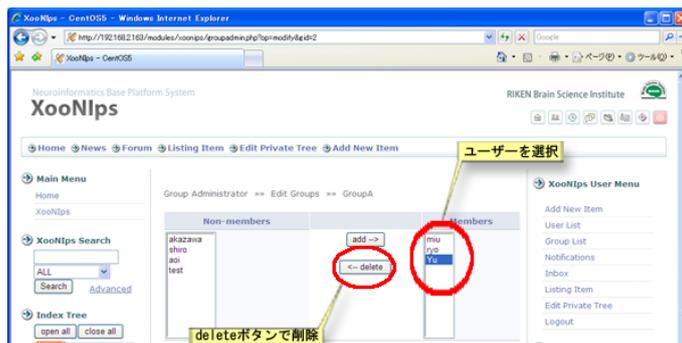


図 4.57. グループメンバーの削除

### 4.3.2. 共有アイテムの審査・承認

グループで共有するアイテムの審査・承認をします。

XooNips Group Admin Menu の Certify Group Items をクリックします。

#### 注意

グループ Index Tree や検索を使ってアイテムの Detail 画面から審査・承認をすることも出来ます。

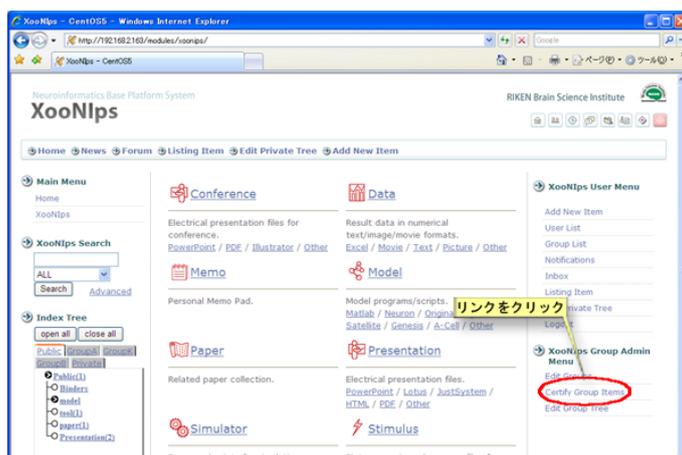


図 4.58. グループ共有アイテムの審査・承認

Accept(承認)または Reject(取り下げ)のボタンを押して、アイテムの公開を承認したり却下したりといった、審査が出来ます。

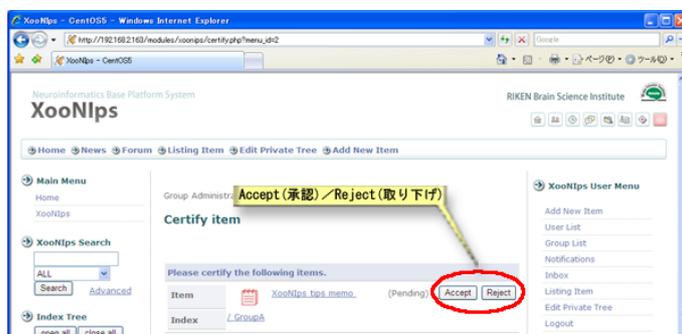


図 4.59. グループ共有アイテムの審査・承認 2

### 4.3.3. 共有アイテムの取り下げ

グループ Index へ登録済みのアイテムを共有領域から取り下げることが出来ます。

グループ Index Tree や検索を利用して取り下げたいアイテムの Detail 画面を表示します。

Index の項目の Reject ボタンを押すと、確認のダイアログが表示されますので Yes を押してアイテムの共有を取り下げます。

## Detail

Print friendly

ID	455	
Language	English	
Title	XooNips tips memo	
Free Keywords		
Comment		
Last Modified Date	Jun 11, 2007 14:57:26	
Creation Date	Jun 11, 2007 13:13:16	
Contributor	<a href="#">ryo_shihono(ryo)</a>	
Item Type	Memo	
Change Log(History)	Jun 11, 2007 Modified; Index. Jun 11, 2007 Modified; Index.	
Item Link		
Memo File		
Index	<a href="#">/ GroupA</a>	
Related to		

ボタンを押して取り下げ



図 4.60. グループ共有アイテムの取り下げ

### 4.3.4. グループ Index の編集

Private と同様の手順でグループ Index の Keyword も追加・削除など編集を行うことができます。

XooNips Group Admin Menu の Edit Group Tree をクリックします。

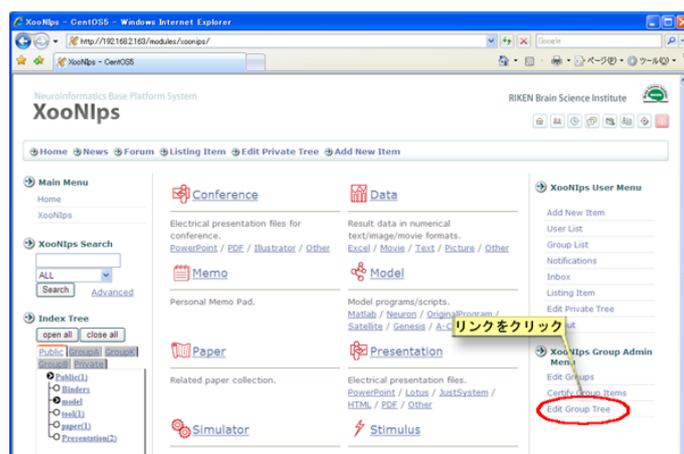


図 4.61. グループ Index の編集

複数のグループ管理者の権限を持っている場合は、複数のグループ IndexKeyword の編集ができます。

1. 編集したいグループ Index のタブをクリックします。
2. 編集したいグループ Index の Keyword をクリックします。

3. クリックしたグループ Index の編集が可能になります。



図 4.62. グループ Index の編集 2

### 4.3.5. グループ管理者の権限委譲

グループ管理の権限者はモデレーターが変更することが出来ますので、モデレーターと連絡を取ってください。

### 4.3.6. ディスク容量の変更について

モデレーターによってグループ毎に設定可能なので、モデレーターと連絡を取ってください。

### 4.3.7. グループの廃止

モデレーターによってグループの廃止が可能ですので、モデレーターと連絡を取ってください。

## 4.4. モデレーター(moderator)

モデレーターとして出来ることの説明です。

### 4.4.1. Public Index Tree の編集

公開領域のインデックスツリーの編集です

XooNips Moderator Menu の Edit Public Tree のリンクをクリックします。

#### 注意

サイトのデザインによっては、この位置にあるとは限りません。

作業手順は登録ユーザーの PrivateIndex の編集の項を参照してください。

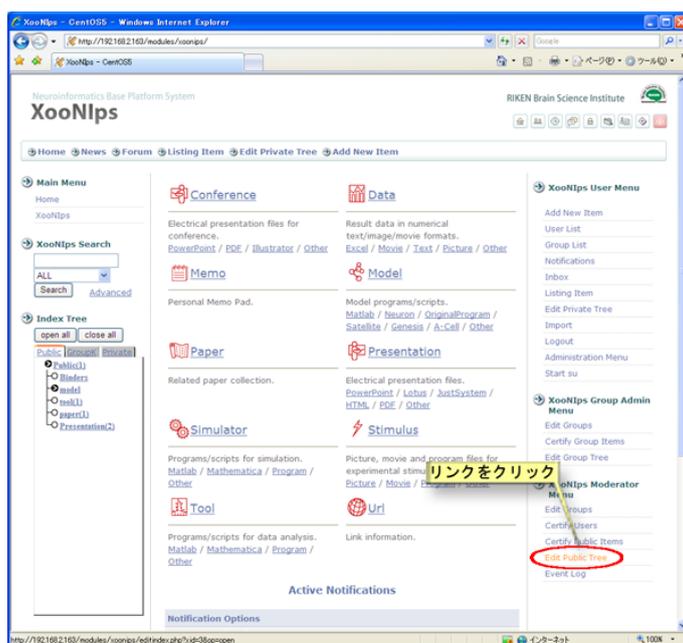


図 4.63. Public Index Tree の編集

#### 4.4.2. Public Index Tree の Binders について

複数のアイテムタイプをまとめて管理出来る特殊なアイテムタイプ[Binder]は登録ユーザーの場合には PrivateIndexTree の任意の位置に登録出来ましたが

Public Index Tree では初期状態で Binders という keyword が登録されており、公開領域では Binder アイテムタイプは Public>Binders の位置にしか登録出来ません。

この Binders という keyword は削除することは出来ません。

#### 4.4.3. アイテムの審査・承認

Public 領域にアイテムを公開するかどうか、審査・承認が出来ます。

XooNips Moderator Menu の Certify Public Items のリンクをクリックします。

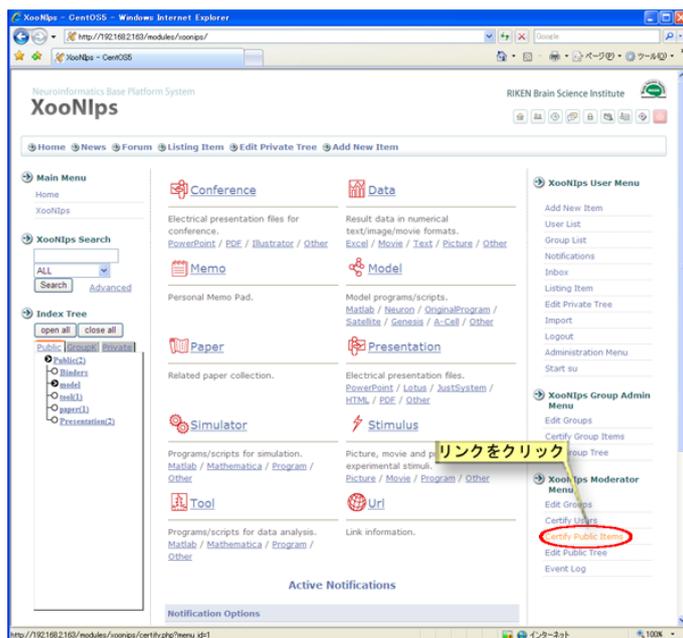


図 4.64. アイテムの審査・承認

Accept(承認) / Reject(取り下げ) のボタンを押すことで実行可能です。



図 4.65. アイテムの審査・承認 2

#### 4.4.4. 公開アイテムの取り下げ

公開済みアイテムの公開取り下げをすることが出来ます。

Index Tree や検索を利用して公開を取り下げたいアイテムの Detail 画面を表示させます。

Index の項目の Reject ボタンを押すと確認のダイアログが表示されますので Yes を選択してアイテムの公開を取り下げます。

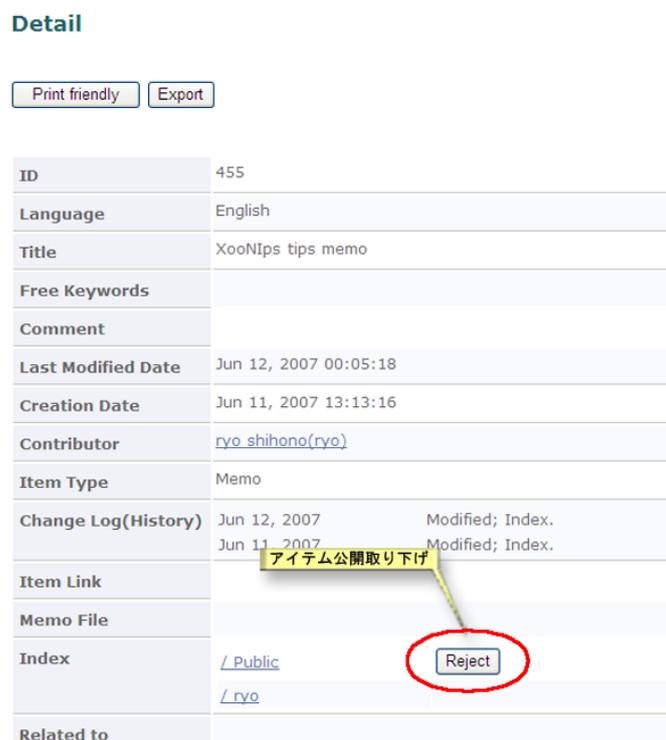


図 4.66. 公開アイテムの取り下げ

#### 4.4.5. グループの作成と削除

グループの作成と削除が出来ます。

XoonIps Moderator Menu の Edit Groups のリンクをクリックします。

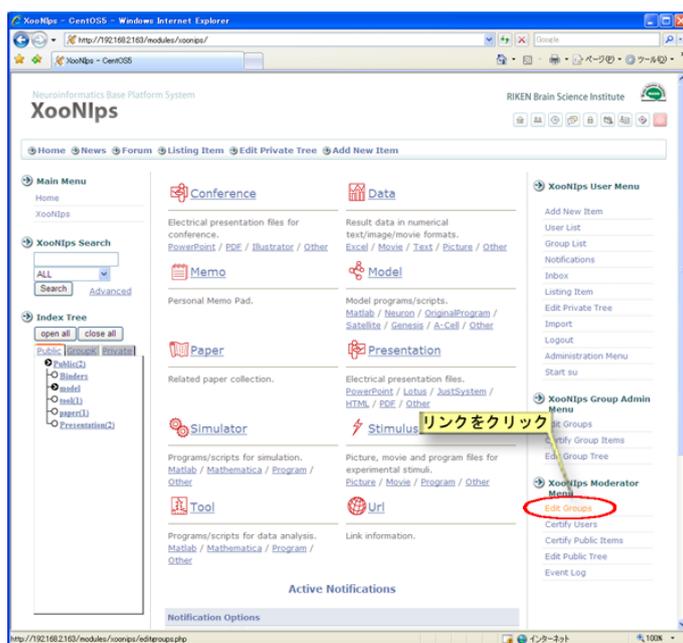


図 4.67. グループの作成・削除

#### 4.4.5.1. 新規グループの作成・削除

1. 新規グループは、create new group の各項目に必要な事項を入力して Submit ボタンを押すことで作成できます。
2. グループの削除は Delete のリンクをクリックすると、確認のダイアログが表示されますので Yes を選択して削除します。

- group name  
グループの名前を入力します。
- group description  
グループの説明文を入力します。
- group administrator  
グループ管理者を選択します。複数人選択することも可能です。
- Maximum number of items  
グループ領域へのアイテム登録数上限値を入力します。
- Maximum number of indexes  
グループ Index の Keyword 数の上限値を入力します。
- Maximum size of items[MB]  
グループ領域で使用するデータ領域の最大値を MB 単位で入力します。

Moderator >> Edit Groups

group name	group description	operation
GroupA	A-group	<a href="#">Edit / Delete</a>
GroupK	k-group	<a href="#">Edit / Delete</a>

create new group (2) グループの削除

group name: GroupB

group description: B-group

group administrator: akazawa, shiro, aoi, miu, ryo, Yu, test

Maximum number of items: 300 (1) ボタンを押して登録

Maximum number of indexes: 200

Maximum size of items[MB]: 100.00

[Submit](#)

図 4.68. グループの作成・削除

#### 4.4.5.2. グループ情報の編集

情報を編集したいグループの右にある Edit リンクをクリックします。

Moderator >> Edit Groups

group name	group description	operation
GroupA	A-group	<a href="#">Edit / Delete</a>
GroupK	k-group	<a href="#">Edit / Delete</a>

グループ情報の編集

図 4.69. グループの情報の編集

項目を修正した後、Submit ボタンを押して情報を反映させます。

Moderator >> Edit Groups >> GroupK

edit group

group name: GroupK

group description: k-group

group administrator: akazawa, shiro, aoi, miu, ryo, Yu, test

Maximum number of items: 500 ボタンを押して反映させる

Maximum number of indexes: 200

Maximum size of items[MB]: 100.00

[Submit](#)

図 4.70. グループ情報の編集 2

## 4.4.6. アクセスログ解析

XooNips が取得しているイベントログを CSV 形式ファイルでダウンロードしたり、グラフ化することができます。

XooNips Moderator Menu の Event Log のリンクをクリックします。

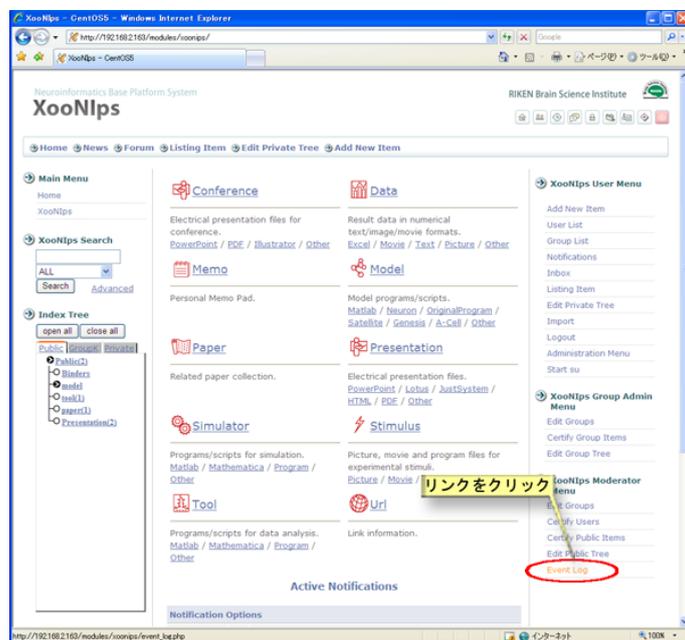


図 4.71. イベントログ解析

- Download events log

イベントログのダウンロード

期間を指定して XooNips のイベントログを CSV 形式ファイルでダウンロード出来ます。

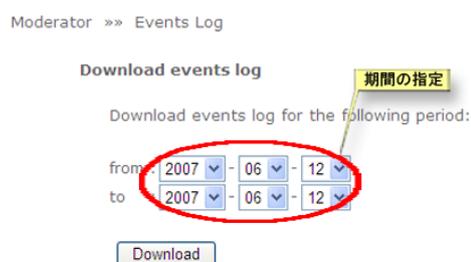


図 4.72. イベントログのダウンロード

- Category

トップページのアクセス、アイテムへのアクセス、アイテムのダウンロード、新規ユーザーの登録とアイテム登録について期間を指定して CSV 形式ファイルでダウンロードかグラフ化して表示することができます。

Category

Select period, and click download (get a csv file) or graph(show a log graph).

from 2007 - 08  
to 2007 - 06

Access to top page

Days > [Download](#) / [Graph](#) Months > [Download](#) / [Graph](#)  
Total > [Download](#) / [Graph](#) Domains > [Download](#) / [Graph](#)

Access to item

Days > [Download](#) / [Graph](#) Months > [Download](#) / [Graph](#)  
Total > [Download](#) / [Graph](#) Domains > [Download](#) / [Graph](#)  
Per > [Download](#) Per user > [Download](#)  
item

Download of item

Days > [Download](#) / [Graph](#) Months > [Download](#) / [Graph](#)  
Total > [Download](#) / [Graph](#) Domains > [Download](#) / [Graph](#)  
Per > [Download](#) Per user > [Download](#)  
item file

New users and items

Users > [Download](#) / [Graph](#) Items > [Download](#) / [Graph](#)

図 4.73. イベントログの個別ダウンロード・表示

グラフ表示から前画面に戻るには右下の Event Log のリンクをクリックします。

Moderator >> Events Log >> Events Log Graph

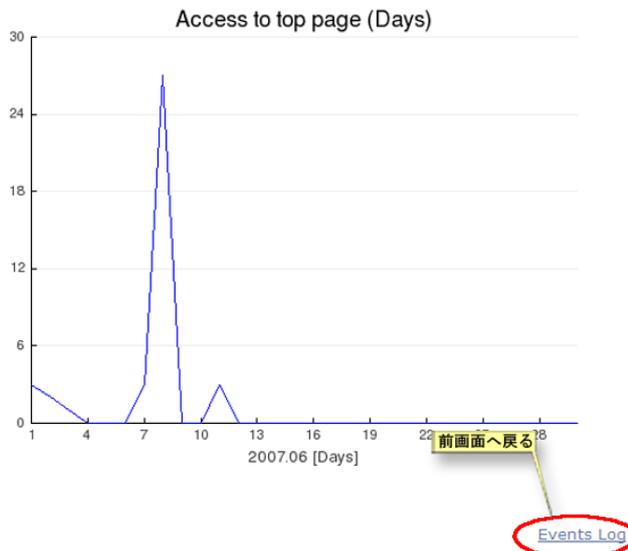


図 4.74. イベントログのグラフ表示

- View

ユーザー一覧とアイテム一覧を見ることが出来ます。



図 4.75. ユーザー一覧とアイテム一覧

#### 4.4.7. モデレーター権限の委譲

システム管理者がモデレーター権限をユーザーに付与出来るので、システム管理者に連絡を取ってください。

### 4.5. システム管理者(Webmasters)

システム管理者時として出来ることの説明です。

#### 4.5.1. サイトポリシーの変更

XOOOPS の Control Panel Home から設定変更を行います。

運用前のシステム設定・サイトポリシー設定・日常メンテナンスの項目を参照してください。

#### 4.5.2. ユーザー情報管理

XooNips Version3.30 では Control Panel Home の System モジュールの Edit User でユーザー情報の削除は可能ですが、UID は削除されません。

ユーザーの削除を安易に行わないようにしてください。

#### 4.5.3. ユーザー切り替え機能

XooNips では登録したアイテムは登録したユーザーのみがアイテムの変更・修正が可能です。

システム管理者は他ユーザー権限での実行が出来ますので、他ユーザーの登録したアイテムであっても変更・修正が可能となります。

XooNips User Menu の Start su のリンクをクリックします。

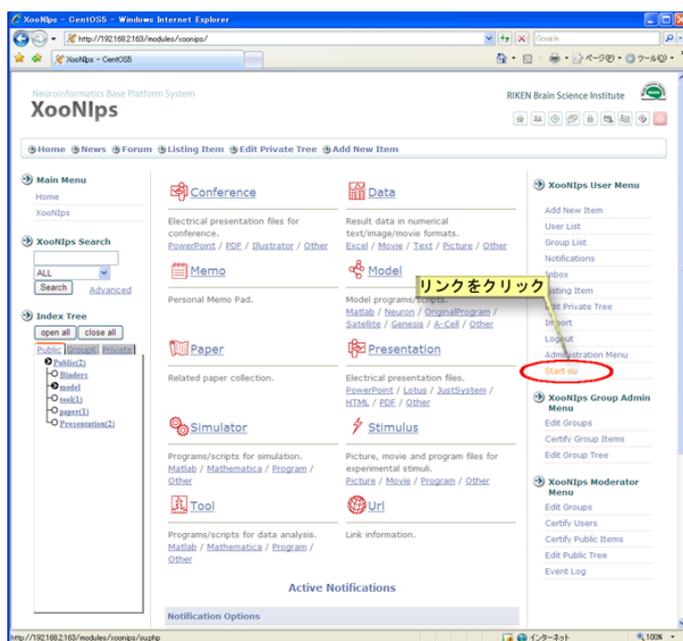


図 4.76. su 機能

ドロップダウンリストからユーザーを選択してシステム管理者のパスワードを入力します。



図 4.77. su 機能 2

ユーザーとしての作業を終了したら、XooNips User Menu の End su(ユーザー名)のリンクをクリックします。

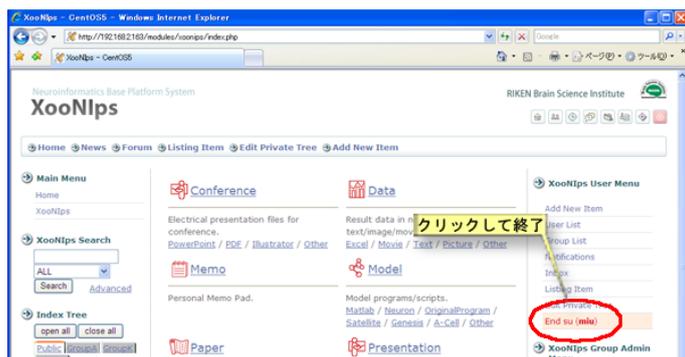


図 4.78. su 機能 3

#### 4.5.4. エクスポート

他の XooNips サイトへアイテムや IndexTree 構造を利用出来るようにする為のファイル書き出し機能です。

##### 注意

サイトポリシー設定の Import/Export の項目で enabled の項目が Yes に設定されている場合は登録ユーザーでもインポート・エクスポートが可能になります。

エクスポートされる内容

- アイテム

同一の Index keyword に登録されている複数のアイテムを同時にエクスポートすることも出来ます。

##### 注意

添付ファイルをエクスポートするかどうかはサイトポリシー設定の Import/Export での設定で決定されます。

- Index Tree keyword

Index の構造をエクスポート出来ます。

##### 注意

Public Index の Binders もエクスポート可能ですが、削除は出来ませんので注意してください。

エクスポートの手順

1. Index Tree keyword のエクスポート

##### 注意

アイテムが登録されていない空の Index Keyword はエクスポート出来ません。

エクスポートしたい Index Keyword をクリックしてアイテム一覧画面を表示します。

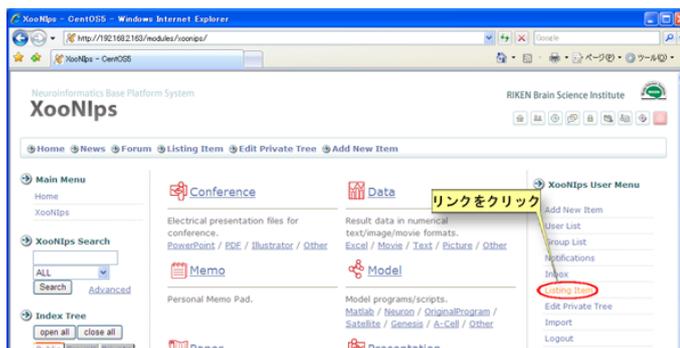


図 4.79. Index のエクスポート

エクスポートしたい Keyword をクリックして、Export ボタンを押します。

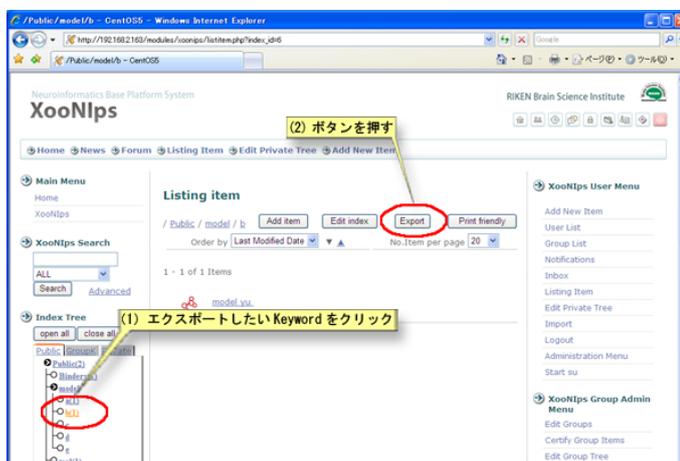


図 4.80. Index のエクスポート 2

Export Indexes にチェックを入れます。再帰的にエクスポートする場合には Export indexes recursive の項目を Yes に設定してください。

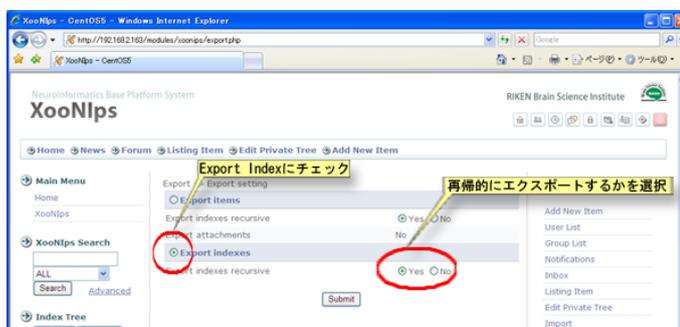


図 4.81. Index のエクスポート 3

エクスポートされる情報が表示されますので、確認した上で Download ボタンを押すとエクスポートファイルのダウンロードが開始されます。

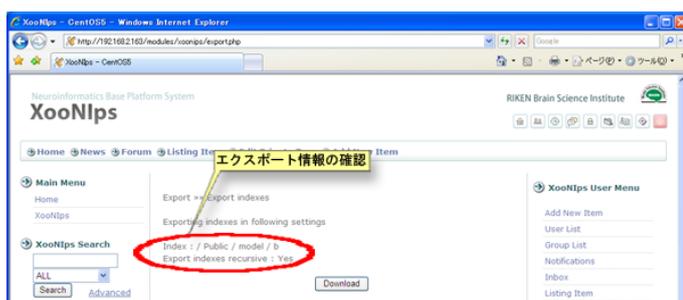


図 4.82. Index のエクスポート 4

## 2. アイテムのエクスポート

検索などを利用してエクスポートしたいアイテムの Detail 画面を表示して、Export ボタンを押します。

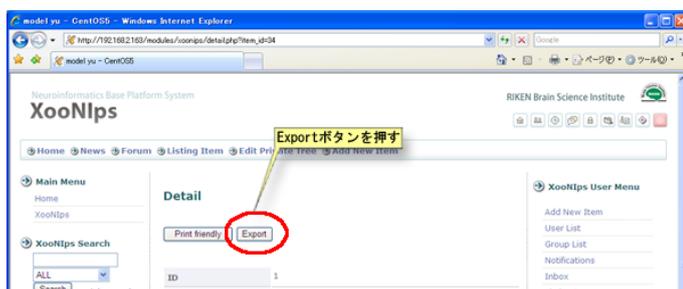


図 4.83. アイテムのエクスポート

添付ファイルを同時にエクスポートするかどうかの設定をします。

### 注意

サイトポリシー設定の Import/Export で Export attachments の項目が No の場合にはここでは選択項目は現れません。



図 4.84. アイテムのエクスポート 2

アイテムダウンロードのライセンス条項に同意して、Accept にチェックを付けたら Download ボタンを押すとエクスポートファイルのダウンロードが開始されます。



図 4.85. アイテムのエクスポート 3

### 4.5.5. インポート

他の XooNIPS サイトでエクスポートしたアイテムや、Index Keyword のファイルを読み込んで利用することが出来ます。

XooNIPS User Menu の Import をクリックします。



図 4.86. インポート

- File to import

インポートするファイルを選択します。

- To Certify items automatically

アイテムのインポート先が Public 領域だった場合にアイテムの公開承認を自動的に行います。

- Don't import(Error check only)

エラーチェックのみで実際のインポート処理は行いません。

- Logging

インポート処理のログを表示します。

インポート先の Index Keyword にチェックを入れて、インポートファイルを選択したら Next ボタンを押します。



図 4.87. インポート 2

エラーが無い場合は確認画面が表示されますので、Next ボタンを押してインポートを実行します。

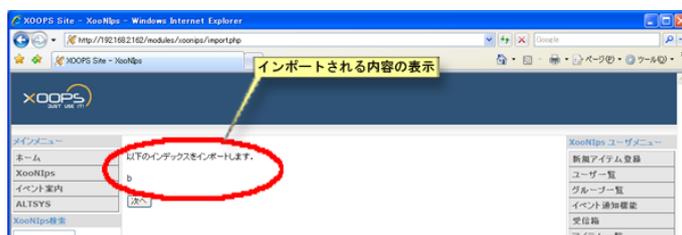


図 4.88. インポート 3

インポートされていることが確認出来ます。

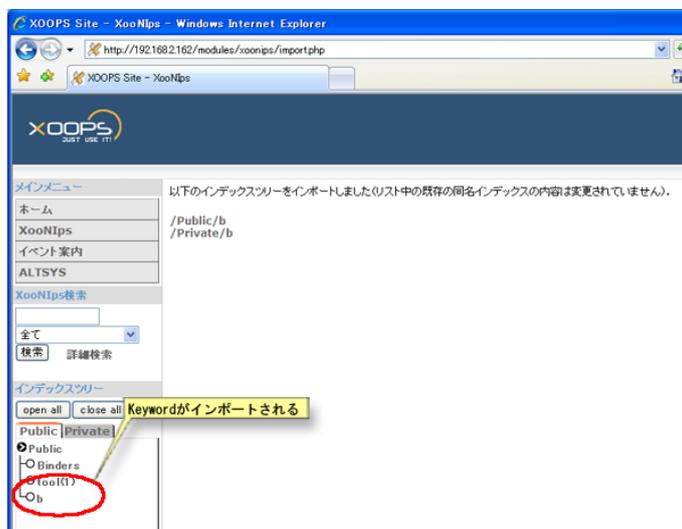


図 4.89. インポート 4

### 4.5.6. メタデータハーベスト

メタデータのハーベストは手動で行う必要があります。  
 日常メンテナンス OAI-PMH 設定の項目を参照してください。

### 4.5.7. モデレーターの変更

モデレーターの変更は Control Panel Home の XooNips モジュールの Maintenance Usermanagement の項目で User's Groups でユーザーをモデレーターグループに追加することで変更出来ます。

正確には、Basic Configurations の Moderator Group で設定した XooNips のモデレーターとなっているグループを追加します。

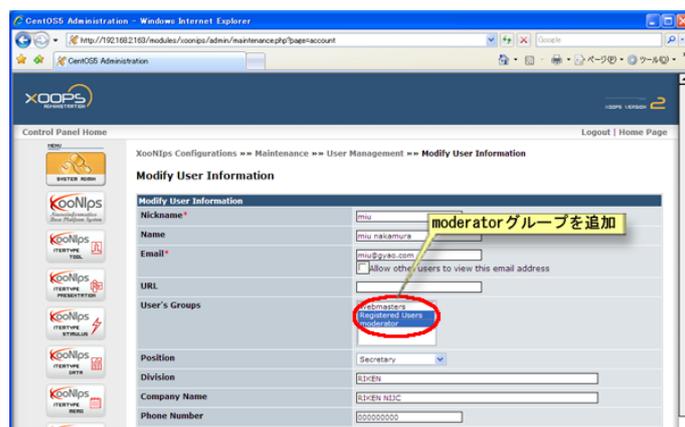


図 4.90. モデレーターの変更

# 第5章 謝辞

XooNIps は研究以外の分野にも広がりを見せ始めております。更なる飛躍をご期待ください。

そして、XooNIps の開発に携わった全ての人、利用して下さる全ての人に感謝します。

ありがとうございました。

1. 2007年7月2日第一版発行

Version3.30 対応

## 第 6 章 著作権表示

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

You may not change or alter any portion of this comment or credits of supporting developers from this source code or any supporting source code which is considered copyrighted (c) material of the original comment or credit authors.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA